Journal of the SHIZUOKA Association of Radiological Technologists

SHIZUOKA JOURNAL

Vol. 33 No. 1 2023（通巻217号）

目　次

巻頭言　「最近の学びから思うこと」　副会長（西部）　小林　秀行 …… 1

会告
第38回乳腺画像部会研修会（８/19）…… 2
第13回フレッシャーズセミナー（９/２）…… 3
第45回静岡ふれあい広場（９/10）…… 4
第39回日本診療放射線技師学術大会（熊本県）（９/29～10/１）…… 5
第81回超音波部会研修会（９/30）…… 6
第17回静岡県MRI技術研究会（10/14）…… 7
令和５年度原子力緊急時災害対策研修会（11/18）…… 8
令和５年度秋季公開講演会（11/23）…… 9
第15回中部放射線医療技術学術大会（福井県）（11/25～26）…… 10

おめでとうございます　永年勤続表彰 …… 12

報告
令和４年度静岡県原子力防災訓練（２/４）…… 14
第７回ワークライフバランス検討委員会研修会（２/18）…… 15
第37回乳腺画像部会・第80回超音波部会　合同研修会（２/25）…… 16
令和４年度第９、10回告示研修（実技研修）（２/25～26）…… 17
第16回静岡県MRI技術研究会（３/11）…… 19
令和４年度静岡県放射線技師研修会（３/18）…… 20
第56回アンギオ部会研修会（３/25）…… 21
第12回公益社団法人静岡県放射線技師会通常総会・第27回静岡県放射線技師学術大会（５/28）… 22

学術論文
第７回ワークライフバランス検討委員会研修会（２/18）…… 25
令和４年度静岡県放射線技師研修会（３/18）…… 29
第56回アンギオ部会研修会（３/25）…… 33

連載企画　突撃!!となりの放射線科 …… 38

メッセージボード …… 44

本会の歩み …… 47
会員動静 …… 51
本会への寄贈図書 …… 52

議事録
令和５年度　第１回理事会議事録（４/22）…… 54
第12回静岡県放射線技師会定時総会　議事録（抄）…… 65

行事予定カレンダー …… 73

S.A.R.T 公益社団法人 静岡県放射線技師会

巻　頭　言

『最近の学びから思うこと』

（公社）静岡県放射線技師会　副会長（西部）　小林　秀行

あらためまして、令和４年度から副会長の任をいただきました、聖隷福祉事業団保健事業部聖隷健康診断センターの小林秀行と申します。常任理事としての仕事は初めてとなり、大変不安ではありましたが、髙橋会長をはじめとする常任理事メンバーの皆様のご協力をいただき、あっという間に１年が過ぎていきました。５月28日に行われました定時総会を終えた時には１年を終えた達成感のようなものも感じることができました。このような経験、機会をいただくことができましたことに、関係の皆様に感謝申し上げます。

最近、経験させていただいたことで特に印象に残ったこと２点、お伝えしたいと思います。

４月に第31回日本医学会総会に参加いたしました。日本診療放射線技師会から後援、また、出展もあるとのことで以前から興味がありました。貴大会は、1902年（明治35年）に第１回が開催され、以来４年ごとに開催されている伝統ある大会です。東京国際フォーラムをメイン会場として周辺施設も含め開催されており、参加者は延べ４万人以上、並行して丸の内・有楽町エリアで開催された一般市民向けの「博覧会」では、オンライン視聴者もあわせて約53万人の一般の方が参加されたとのことです。

セッションについて一つご紹介させていただきます。「医療・医学におけるチームビルディング―コミュニケーションとリーダシップスキルを再考する―」というセッションがありました。その中で、医学教育の中にチームビルディング・コミュニケーションについて学ぶこと、教育プログラムそのものが不十分であることが指摘されていました。チーム医療といわれて久しいですが、未だに「昭和の時代」のチーム構成で仕事がされている現場に医療界だけが取り残されている感があること、働く側の意識改革が本当に必要であり、他業種との連携も視野に入れ、コミュニケーションの活性化、チームビルディングについて取り組む必要がある、とのことでとても共感をいたしました。

大会の規模にも圧倒されましたが、何より企画されているセミナー、シンポジウムのすばらしい内容に大変感銘を受けました。

もう一点、５月に第35回名古屋医療マネジメント研究会に参加いたしました。DXに取り組まれた医療機関のCOO兼院長先生の講演および医療機器メーカーからのDXへの取り組みについて意見交換がありました。その中で、今話題の「ChatGPT」について直接触れる経験がありました。「ChatGPT」とは人間のように自然な対話形式でAIが答えるチャットサービスで、昨年よりその精度の高さに各業界でも話題となりました。一部、学術機関や教育機関などでは使用制限を検討されているような状況です。研究会参加者が30分かけて行ったグループワークの回答を「ChatGPT」に訊いたところ、２分余りで回答が出て、その内容はグループワークの回答とほぼ寸分変わらぬ内容となりました。もう驚きでしかありませんでした。

専門領域の自己研鑽は必要ですが、医療を取り巻く環境についても常に学習し続けることで取り残されてはならない、ということをあらためて痛感いたしました。また、機会がありましたらご紹介させていただきたいと思います。

Key Word：チームビルディング、コミュニケーション、リーダシップ、「ChatGPT」

会　　告

第38回乳腺画像部会研修会
【明日からの読影が面白くなる! マンモグラフィの読影徹底解説 !!】

第38回乳腺画像部会研修会を開催します。

今回のテーマは『明日からの読影が面白くなる！マンモグラフィの読影徹底解説 !!』です。

昨年度開催されました第32回日本乳癌検診学会学術総会 会長の吉田雅行先生にマンモグラフィの読影の基礎について御講演いただきます。

その後、症例検討会として３症例（腫瘤・石灰化・その他の所見）を用意しております。良性・悪性所見を見ながら参加者の皆様と一緒に読影の勉強ができたらと考えております。是非たくさんの方のご参加をお待ちしております。

記

【日　　時】 2023年８月19日（土） 14：00～16：20

【参 加 費】 500円

【配信アプリ】 ZOOM（web 会議ツール）※参加の際はインストールをお願いします

【定　　員】 500名（先着順、定員になり次第募集を終了します）

【申 込 方 法】 静岡県放射線技師会ホームページの会告・セミナーの参加申込フォームよりお申し込みください

（専用ページ URL http://shizuhogi.jp/i/seminar.html）

※参加 URL・ミーティング ID・パスワードは申し込み後、登録されたメールアドレスに送信予定

※参加登録締切日時：８月17日（木）22：00

※詳細は静岡県放射線技師会ホームページをご確認いただきますようお願いします。

【内　　容】

14：10～15：10　マンモグラフィの読影の基礎（仮）

NPO法人　いかまい検診浜松　理事長　吉田　雅行　先生

15：20～16：20　症例検討会

中東遠総合医療センター　竹山　有希　会員

磐田市立総合病院　安澤　千奈　会員

順天堂大学医学部付属静岡病院　有坂　英里　会員

【問い合わせ先】

乳腺画像部会長　中村　陽子（聖隷三方原病院　画像診断部）

会　　告

「第13回　フレッシャーズセミナー」

日本診療放射線技師会では診療放射線技師のためのフレッシャーズセミナーとして、新たに診療放射線技師として勤務するフレッシャーズを対象とした基礎講習を開催いたします。

下記の内容にて開催いたしますが、新人のみではなく、会員・非会員、すでに勤務している方、どなたでも参加可能なプログラムとなっています。医療安全・感染対策等の研修としての活用も可能です。是非とも参加して頂き日常業務への糧になればと考えております。

今回の講習会は会場型で開催いたします。新規採用３年以内の診療放射線技師を優先的に受け付けたいと思います。多くの方々の参加をお待ちしております。

記

【日　　時】　令和５年９月２日（土曜日）
　　13時00分～17時30分（受付12時45分～）
【場　　所】　静岡県放射線技師会　事務所
【対　　象】　会員、非会員（新規採用３年以内の方を優先）
【参 加 費】　無料
【お申込み】　メールかFAXにて会員番号、名前、勤務先、技師歴をお知らせください
　　Email　kyouiku@shizuhogi.jp　FAX　054-251-9690
　　申込期間は８月25日（金曜日）まで。
　　定員は30名（新規採用３年以内の方を優先）
【内　　容】

12:45～13:00　受付
13:00～13:30　入会案内
13:30～14:30　エチケット・マナー、医療コミュニケーション講座
14:30～15:30　医療安全講座
15:30～16:30　感染対策講座
16:30～17:30　被ばく低減講座

JR静岡駅から
静岡駅北口、バスターミナルから、
本通り６丁目方面
（80,84,85,92,96,97,98）に乗車し、
「本通り３丁目」にて下車。

生涯教育委員会

会　　告

『第45回静岡ふれあい広場』

（公社）静岡県放射線技師会は、平成９年より『静岡ふれあい広場』に参加してまいりました。令和２年度より中部地区会が主催となり参加予定でしたが、コロナの影響で数年間、開催が中止されてきました。本年度は開催予定です。中部地区会の役員で行う予定です。会員の皆様ご家族等お誘いあわせの上ご参加下さい。

記

【日　時】：令和５年９月10日（日）
【場　所】：静岡市青葉シンボルロード
【参加費】：無料
【内　容】：骨密度検査を予定しております
※詳細は静岡市社会福祉協会と協議の上、静岡県放射線技師会ホームページに掲載いたします。

会　　告

『第39回日本診療放射線技師学術大会（熊本県）』

第39回日本診療放射線技師学術大会を2023年９月29日（金）から10月１日（日）までの３日間、熊本城ホールで開催致します。今回は、第30回東アジア学術交流大会（30th East Asia Conference of Radiological Technologists：30thEACRT）も開催される国際大会となります。

本大会は、日本診療放射線技師会のスローガン「タスク・シフト／シェアに伴う業務拡大を推進しよう」の基、サブタイトルを2016年４月の熊本地震から復興半ばの熊本開催ということで「復興の地から始まる技術革新」と定め、準備を進めています。また前回大会を引継ぎましてハイブリット開催が決定しており、Web参加者や現地参加者の後日閲覧に対しての配信コンテンツの充実を図っていきたいと考えています。

会員の皆さまの技術の向上並びに最新情報の収集に向けて準備をしてまいりますので、たくさんの会員の皆様のご参加をよろしくお願いします。

記

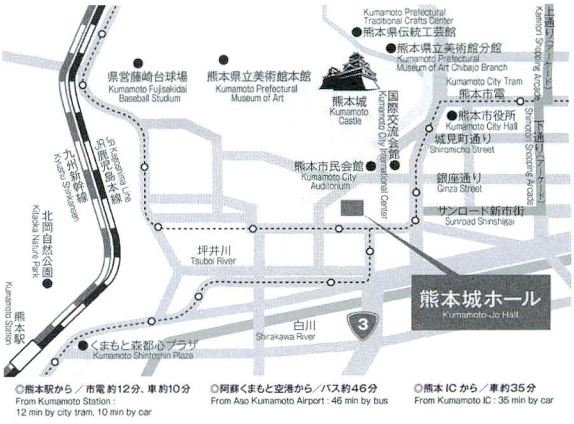
【日　　時】　2023年９月29日（金）～10月１日（日）

【場　　所】　熊本城ホール（熊本県）
〒860-0805　熊本県熊本市中央区桜町3-40

【参 加 費】　正会員：［事前参加登録］10,000円　／　［当日参加登録］14,000円
非会員：［事前参加登録］15,000円　／　［当日参加登録］18,000円
学　生：［事前参加登録］　2,000円　／　［当日参加登録］　2,000円
（学生：学部学生のみ。社会人大学院生は含まれません）

【開催種別】　現地開催＋オンデマンド開催

【内　　容】　学会発表・各種講演
セミナー開催予定



会　　告

『第81回超音波部会研修会』

このたび、下記の通り「第81回超音波部会研修会」を開催することとなりました。今回は、症例報告会として開催を予定しております。様々な症例について情報共有できる内容となっておりますので、お誘いあわせのうえ、奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

記

【日　時】 令和５年９月30日（土）13：30～ （受付開始 13：00より）

【場　所】 静岡県放射線技師会事務所

【参加費】 500円

【内　容】 １．メーカー講演
２．症例報告

＊ＺＯＯＭを利用したハイブリット開催も検討しております。

＊詳細につきましては、決定次第、静岡県放射線技師会ホームページにてご案内致します。

＊本会は、日本診療放射線技師会の生涯教育ポイントの対象となります。

公益社団法人　静岡県放射線技師会　超音波部会

会　　告

『第17回静岡県MRI技術研究会　開催案内』

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。このたび下記の通り「第17回静岡県MRI技術研究会」を開催することになりました。今回は「頸部領域のMRI」をテーマとした内容になっております。ハイブリッド開催を予定しております。本会が活発な病院間交流の場となりますよう、皆さまお誘い合わせの上、ご参加をお願い申し上げます。　　敬具

記

【日　時】　令和５年10月14日（土）14：00～16：30（受付開始：13：30）

【場　所】　B-nest静岡市産学交流センター　ペガサート６F　プレゼンテーションルーム
〒421-0857　静岡市葵区御幸町3-21（054-275-1655）
＊公共交通機関をご利用ください。

【参加費】　500円

【内　容】
１．企業講演（20分）

２．会員発表（30分×２）
頸部領域における脂肪抑制に関する内容
浜松医科大学附属病院　白木　一史　会員
頸部領域におけるアーチファクト対策に関する内容
静岡医療センター　　石田　ちさき　会員

３．教育講演（60分）
＊頸部MRIの画像診断におけるポイントとピットフォールについてご講演いただきます。
東京医科大学　放射線医学分野　講師　勇内山　大介　先生

※本会は、日本診療放射線技師会　生涯教育ポイントの対象となります。
※本会は、日本磁気共鳴専門技術者認定機構の認定研究会です（更新点数５単位）。
（ポイント取得を希望される方は別途RacNeでの参加登録が必要となります。）
※本会は、日本救急撮影認定機構の認定講習会です（２単位）。

（公社）静岡県放射線技師会MRI部会/ゲルベ・ジャパン株式会社

会　　告

『令和５年度 原子力緊急時災害対策研修会』
（第51回放射線技師のためのセミナー合同研修会）

静岡県放射線技師会は、静岡県地域防災計画（原子力災害対策編）の協力団体に指定されております。今回の研修会では、原子力発電所における原子力災害時に放出される放射性物質、防護措置実施基準（運用上の介入レベル基準OIL）について住民検査に必要な知識の講演とGM管取り扱いと緊急被ばく汚染スクリーナー養成を目指した実習等を行い、より多くの皆様に原子力災害対応についての理解を深めてもらう企画となっております。実習では昨年度静岡県原子力防災訓練で実施された内容の実演を予定しています。皆さんのご参加よろしくお願い致します。

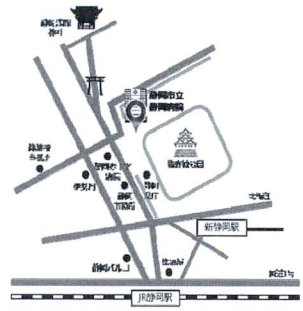
記

【日　時】　令和５年11月18日（土）　14：00～17：00
【参加費】　無料
【会　場】　静岡市立静岡病院　西館12階講堂　（静岡市葵区追手町10番93号）
【内　容】

13：30	受付　開会
14：00－15：00	①「原子力発電所原子力災害時の放射性物質とは」
15：00－15：30	②「原子力災害での避難退域時検査要員任務」 講師　中部電力（株）原子力本部　原子力部 防災・核物質防護グループ　可児　和広　課長 座長　静岡県放射線技師会　災害対策委員長　牛場　克明
15：30－15：40	休憩・準備
15：40－17：00	「GM管取り扱いとスクリーニング」講義と実習 講師　静岡県放射線技師会管理士部会　千葉部会長・勝浦部会員 中部電力（株）浜岡原子力発電所　運営基盤部　放射線管理課
17：00	閉会

【主　催】　公益社団法人　静岡県放射線技師会（災害対策委員会・企画調査委員会・管理士部会）

会場のご案内
静岡市立静岡病院
西館12階講堂
（静岡市葵区追手町10番93号）
公共交通機関をご利用ください
（病院駐車場は有料です）
JR静岡駅（北口）徒歩15分
静岡鉄道新静岡駅徒歩10分



・会場参加者はIDカードをご持参ください。
・研修会終了後に原子力緊急時災害対策研修会受講票をお渡しします。
・また、会員は日本放射線技師会学術研修ポイント対象研修となります。

会　　告

『令和5年度　秋季公開講演会(県民公開講座)～乳がん検診受診率向上を目指して～』開催について

静岡県放射線技師会は、公益事業としてがん撲滅、そしてがん検診受診率向上を目指し、県民の皆様が安心して健康で過ごせるように健康増進を推進するため、またレントゲン週間に合わせ診療放射線技師の資質向上を目的とした講演会の企画をしています。本年度は、乳がん検診にスポットを当て、大学生の乳がん検診についての啓発活動報告、患者様からの立場から、そして診療放射線技師、医師の立場からお話をして頂きます。公開講演は東京慈恵会医科大学　外科学講座　乳腺・内分泌外科　伏見　淳　先生にご講演頂きます。多くの方々に興味を持ってもらい、参加したくなるような内容を企画しました。つきましては、ご家族やご近所様、学生、職場の方など皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

【日　　時】　令和５年11月23日（木・祝）　13：55～16：30

【場　　所】　静岡県総合研修所「もくせい会館」第１会議室+Web配信（Hybrid開催）
〒420-0839　静岡市葵区鷹匠３丁目6-1
電話：054-245-1595

【参 加 費】　無料（Webは事前申込制）

【申込方法】　静岡県放射線技師会ホームページの会告・セミナーの参加申込フォームより申込下さい。
専用ページURL http://shizuhogi.jp/i/seminar.html

【Web申込期間】　令和５年10月23日（月）～11月22日（水）

【内　　容】

13：30～　　受付開始（Web入室受付）

13：55～14：00　会長挨拶

14：00～14：20　『乳がん検診啓発に関する取り組み～SGE ♡プロジェクトって何？～』
聖隷クリストファー大学　学生

14：20～14：30　『患者の立場から～乳がんを経験して～』
鶴田　季子　様

14：30～14：50　『乳がん検査のはなし』
JA静岡厚生連　清水厚生病院　放射線科　望月　有美　会員

15：00～16：00　公開講演
『BC TUBEによる乳がん検診啓発活動を通して』
東京慈恵会医科大学　外科学講座　乳腺・内分泌外科　伏見　淳　先生

16：00～16：30　パネルディスカッション

会　　告

『第15回中部放射線医療技術学術大会(CCRT)』

第15回中部放射線医療技術学術大会（CCRT）を11月26日、27日の２日間、福井県福井市の「AOSSA」で現地開催する運びとなりました。

CCRTは、中部７県の診療放射線技術学を根幹とする日本診療放射線技術学会中部支部と診療放射線技師の団体である中日本地域診療放射線技師会が、合同で協力し合いながら開催する学術大会です。2008年に福井県から始まったCCRTも、今回で15回目の開催となり、３巡目に入ります。この間に様々なノウハウが蓄積され、大会運営の共通認識の醸成とともに、双方の会員に対して有益な学術大会のかたちになりつつあります。

今回の学術大会のテーマは、「Image for the future～放射線技術の革新と展望」といたしました。私たちを取り巻く放射線技術は日々進歩しており、臨床で勤務する診療放射線技師だけでなく、診療放射線技師を養成する大学等の教育や企業の研究者も将来を見据えた取り組みをしていく必要があります。今の放射線技術の現状をしっかりと把握すること、それをもって将来の技術へとつなげていくことを考えた学会にしたいと考えています。

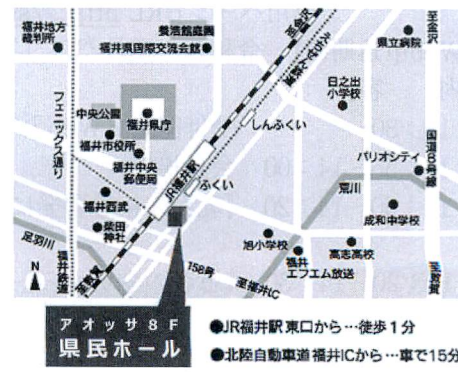
第14回の愛知県開催を見習って多くの方が楽しく参加できる学会にしたいと思います。感染予防に十分考慮した上で運営させていただきますので、皆様と久しぶりにお会いし語り合うことができることを楽しみにしております。

大会長　山崎　厳（市立敦賀病院）

記

【日　　時】 2023年11月25日（土）、26日（日）

【場　　所】 AOSSA
（８F　福井県県民ホール、
６F　福井市地域交流プラザ）
〒910-0858　福井県福井市手寄1-4-1



【開催種別】 現地開催
オンデマンド開催
（2023年12月３日（日）～16日（土））

【内　　容】 一般研究発表、各種セミナー　開催
※最新の情報は、ホームページをご確認ください。
https://square.umin.ac.jp/ccrt2023/index.html

おわび

「しずおかジャーナル　Vol.32 No.3　2022（通巻216号）」（令和５年３月24日発行）５、６ページの「第27回静岡県放射線技師学術大会プログラム」において記載内容に誤りがありました。謹んでお詫びいたしますとともに以下のとおり訂正いたします。

①　５ページ

誤：ランチョンセミナー　『動態検査の現在と未来』　12：00～13：00』

正：ランチョンセミナー　12：00～13：00』

②　６ページ

誤：セッションⅢ　放射線管理・情報管理　14：20～16：20

正：セッションⅢ　放射線管理・情報管理　14：20～15：00

③　６ページ

誤：セッションⅤ　X線CT　15：30～16：20

座長　島田市立総合医療センター　診療放射線室　山崎　俊樹

正：セッションⅤ　X線CT　15：30～16：20

座長　静岡徳州会病院　放射線科　横山　和佳

ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

おめでとうございます

公益社団法人 静岡県放射線技師会　永年勤続表彰者

（公社）静岡県放射線技師会永年勤続表彰者

永年勤続35年

大原　明	沼津市立病院
畑　利浩	島田市立総合医療センター
石川　尚紀	JA静岡厚生連　遠州病院
佐々木英治	NTT東日本伊豆病院
井出　敦之	田辺整形外科医院
芦澤　和彦	三島総合病院
澤田　道文	浜松医科大学医学部附属病院
村山　保男	西焼津駅前クリニック検診センター
松本　恭徳	自宅
鈴木　和訓	富士市立中央病院
井上　忠之	菊川市立総合病院
荒木　重雄	自宅
天野真由美	自宅
伊代田和孝	聖隷浜松病院

永年勤続20年

星野　明宏	静岡市立静岡病院
杉本　鈴	清風会　芹沢病院
中村　真也	静岡県立こども病院
浅見　浩明	共立蒲原総合病院
澤口　知映	沼津市立病院
秋山　寿美	渡辺整形外科内科医院
赤池　宗紀	静岡県立総合病院
高崎　哲也	静岡県立総合病院
中野　瞳	静岡市清水医師会
田中　論宇	百葉の会　湖山病院
蒔田　鎮靖	藤枝市立総合病院
中村　佐織	静岡県立こども病院
勝又　史樹	有隣厚生会　東部病院
勝又　勇丞	有隣厚生会　富士小山病院
筒井　克好	JA静岡厚生連　遠州病院
鈴木　康章	中東遠総合医療センター
平入　哲也	順天堂大学医学部附属静岡病院
山本　智久	静岡赤十字病院
石部　弘樹	自宅
利　旭央	富士宮中央クリニック
澤口　信孝	富士市立中央病院
畑　美穂	公立森町病院
山内　達也	静岡市立静岡病院
福田　光紀	静岡赤十字病院
遠藤　基生	静岡赤十字病院
水野　敬晃	秀峰会　川村病院
井上　涼子	自宅
上棚　稔之	有隣厚生会　富士病院
中村　佳司	有隣厚生会　富士病院

（公社）日本診療放射線技師会永年勤続表彰者

永年勤続50年

奥村　正義　　静岡あおい消化器科クリニック
伊藤　雅夫　　西遠クリニック

永年勤続30年

岩田　　勉　　焼津市立総合病院
愛甲　泰久　　順天堂大学医学部附属静岡病院
後藤　英樹　　静岡済生会総合病院
中村　文俊　　浜松医療センター
深井　智章　　静岡県立静岡がんセンター
山崎　俊樹　　島田市立総合医療センター
野末　恭弘　　島田市立総合医療センター
鈴木　千晶　　聖隷三方原病院
山岡　真二　　聖隷予防検診センター
石川　文彦　　富士宮市立病院
山本　勇夫　　聖隷浜松病院
村松　信彦　　田辺脳神経クリニック

本部功労賞

山本　英雄　　袋井市立聖隷袋井市民病院

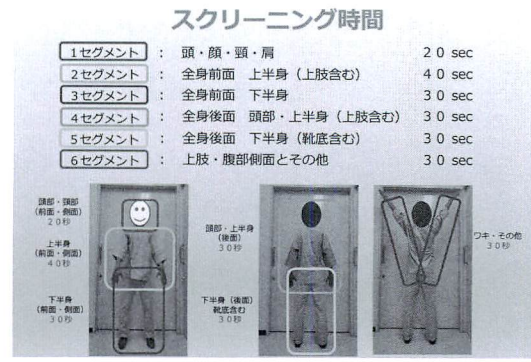
令和４年度静岡県原子力防災訓練参加報告

令和５年２月４日(土)
新東名高速道路浜松SA下り線

令和４年度静岡県原子力防災訓練が図上訓練１月31日、実動訓練２月４日に実施されました。令和５年２月４日（土）に新東名高速道路浜松SA下り線で行われた実動訓練の避難退域時検査場所運営訓練に静岡県危機管理部原子力安全対策課より派遣依頼を受け参加してきました。実動訓練の実施は３年ぶりとなり静岡県からの原子力防災訓練参加依頼は久しぶりとなります。

訓練想定は最大震度７の地震を起因として、中部電力㈱浜岡原子力発電所４号機で警戒事態・施設敷地緊急事態・全面緊急事態が発生し、その後放射性物質が放出され、各地点において避難が必要な空間放射線量率の上昇が認められた状況になったと想定し県は、原子力災害対策指針に基づき、原子力事業者等と連携し、指定公共機関の支援の下、避難の基準に基づいて避難したPAZ及びUPZ圏内市町住民に対して、避難退域時検査及び避難退域時検査結果に応じたOILに基づく簡易除染を実施することを目的としています。

訓練ではPAZ及びUPZ圏内市町（10市町）の各市・町から一定の時間を空けてバスが到着します。バスの車両所定箇所検査の後、避難してきた参加住民はバスを降り住民受付を済ませ指定箇所検査を受け汚染があった住民は確認検査・簡易除染を受け除染後確認検査ののち健康相談を受け検査済み証交付される流れで、担当はサーベイメータによる汚染箇所の特定検査と検査済証交付のための健康状況確認票への記載でした。汚染を想定した住民はビブスを着けておりに、各市町40名のうち10名程度の汚染箇所特定を２人でスクリーニングします。汚染箇所・カウントを記載して（汚染箇所・カウント数は自由に想定し記入）除染担当に案内します。参加市民249名、模擬汚染住民50人のサーベイとなりました。訓練時に準備される防護服は原子力防災タイベックスーツではなく不織布防護服でした。内閣府において防護装備の検討・見直しが行われ住民サーベイ時にタイベックスーツは着用しない方針となっています。



汚染箇所特定検査では県技師会原子力緊急時災害対策研修会の実習で行っているセグメント法でサーベイします。２人のサーベイヤーが前後から３分程度スクリーニングし汚染箇所を特定し測定値をcpmで記録担当に伝えます。実際の原子力災害時には訓練同様の派遣依頼が想定されます。技師会原子力緊急時災害対策研修会に参加し原子力災害への備えをお願いします。

災害対策委員長　牛場　克明

第7回ワークライフバランス検討委員会研修会　報告

令和５年２月18日
Web開催

令和５年２月18日にweb形態にて、第７回ワークライフバランス検討委員会研修会を開催しました。静岡県内の告示研修の実施状況の報告と、タスクシフト業務を遂行する３施設の発表を企画しました。事前参加申請が101名、実参加72名でした。特に参加者の６割が技師年数20年以上であったことが特徴でした。

まず、ワークライフバランス検討委員会委員長の鈴木より、昨年実施したタスクシフト業務実施状況アンケート調査の報告を行いました。県内病院施設の受講状況は、基礎研修（Web）・実技研修ともに全国平均より受講率が高く、県内技師の意識の高さが窺えました。2025年に国家試験を合格する人は、拡大業務を全て行うことができます。未受講者と業務に差が生じてしまう事になるため今後注意が必要とのことでした。

次に、富士宮市立病院 嶋崎先生より「過去→現在→未来」と題して告示研修の話をして頂きました。平成５年に行われた統一講習会（US,MRI,眼底カメラ等の業務拡大）では週末に講習会に何度も赴き分厚い参考書とにらめっこし、諸先輩方はご苦労されたとのお話を伺いました。告示研修の実技時間が短く不安だとの声を多く聞くが、実地で腕を磨いてほしいとの事でした。

次に、会員発表です。静岡県立総合病院の神戸先生より血管撮影室におけるタスクシフトの話をして頂きました。清潔領域に技師が介入することのメリットを教えて頂きました。手技中に起こる重篤な合併症が発生した際にはCPR（特に胸骨圧迫）に参加したり、体外補助循環の準備をすることが可能となったそうです。タスクシフトの課題点では、他モダリティとの兼任の技師が多いため、医師の求めるレベルまでの向上（人材育成）が大変であると仰っていました。

次に、共立蒲原総合病院の渡邉先生に発表して頂きました。こちらの施設は放射線科常駐の看護師が不在のため、造影検査等で待ち時間が長くなってしまうという経緯があり、昨年から静脈穿刺を行うようになったと仰っていました。穿刺トラブルやタスクシフト導入後の問題点について教えて頂きました。また読影補助も行っているとのことで、救急外来からの撮影では、所見を発見したら追加撮影→医師の読影補助まで行っているとのことでした。

次に、静岡市立静岡病院の増田先生に発表していただきました。医師がタスクシフトに積極的な施設であり、技師の増員をして静脈路確保を行っていく予定とのことです。2021年には、“今できるタスクシフト”を考えRIの再注入を技師が行うようになったと仰っていました。静脈路確保の導入にあたり、４月の新人看護師研修会に参加、ダミーでのトレーニングや看護師によるOJTを計画している事を教えて頂きました。また、アブレーションの補助業務も行っており、技師が助手に入る件数は増加傾向にあるとのことですが、こちらでも人材育成にはご苦労されているようでした。

研修会終了後に行ったアンケート調査は約半数の方に回答して頂きました。

・当院でもタスクシフトを検討し実行へ移行する段階にあり参考になった。・タスクシフトの必要性が理解でき、診療放射線技師の今後について考えることができた。・好事例として、開拓していただいていることを知り、背中を押された感じがし、頑張ろうと思った。

等々の意見を頂戴しました。参加された皆様にとって有意義な時間であったら幸いです。

最後に発表を引き受けてくださった先生方、参加してくださった皆様、技師会関係者様に心より御礼申し上げます。

ワークライフバランス検討委員　川口　彩子

第37回乳腺画像部会・第80回超音波部会 合同研修会 報告

令和５年２月25日（土）
Web開催

令和５年２月25日（土）にZoomによるWeb開催にて、第37回乳腺画像部会・第80回超音波部会合同研修会が行われました。研修会のテーマを「助け合おう！マンモグラフィー＆超音波　Dense Breastの診断からその先へ」とし、35名の方々にご参加いただきました。

メーカー講演のテーマは“Dens Breastへの追求”としました。富士フィルムメディカル株式会社の相馬麻依奈様からは、「Dynamic Visualization Ⅱ（DYN処理）のご紹介」と題した新画像処理技術の紹介がありました。高コントラストと広いダイナミックレンジが両立し、非常に見やすい画像であると感じました。GEヘルスケアジャパン株式会社の青木久佳様からは、超音波診断装置LOGIQ　E10xの高画質技術や検査精度向上に貢献するアプリケーションの紹介と、自動乳房撮影装置Invenia ABUS 2.0の紹介をしていただきました。両装置ともに検者・受診者双方において大変有益な装置であると感じました。乳腺領域における画像診断装置の発展も日進月歩であり、我々診療放射線技師も益々の検査技術向上に努め、受診者の利益向上に寄与できるよう日々努力しなくてはと改めて感じました。

教育講演では、富士宮市立病院外科　小倉廣之先生により、「乳腺の画像診断」と題して講演していただきました。マンモグラフィー（MMG）における「高濃度乳房」問題では、病変検出率の低下と乳癌発症リスクの増加が問題となります。現在の日本では対策型検診において受診者に乳房の構成を一律に通知することは時期尚早とされています。講演では乳房構成判定について症例を交えて詳しく説明してくださいました。しかしながら、目視での評価である点や、様々な要因（変化）による評価の限界についても触れられました。質問にもありましたが、慣れないうちは複数人でのすり合わせによって判定を行うことを勧めてくださいました。受診者に正しい情報を伝達するためには、まずは正しく乳房構成を判定する必要があります。では、高濃度乳房に対する超音波検査（US）の効果はどうでしょうか？感度は上昇しますが不利益（要精検率）も上昇します。しかし、感度上昇は非高濃度乳房においても認められることから、USはMMGの偽陰性を補う有力な検査法といえます。そして、MMGとUSを用いた正しい総合判定が行われれば、感度と特異度の向上が期待され、これこそがまさに今回の研修会テーマであるようにMMGとUSの助け合いと考えられます。

次に、乳癌の死亡を減少させるために自己健康教育の観点から「自己触診」から「ブレスト・アウェアネス」への変化を提唱されました。「ブレスト・アウェアネス」は一般的には認知されていませんが、「乳房を意識する生活習慣」として、１．乳房の状態を知る　２．乳房の変化に気をつける　３．変化に気付いたらすぐ医師に相談する　４．40歳になったら２年に１回乳癌検診を受ける。これら４つの習慣として定義されます。今までの自己触診と比べ気軽さがポイントです。先生は、質の高い検診もさることながら、死亡率減少には「高い受診率」も必要であり、「ブレスト・アウェアネス」の普及活動を望まれました。

最後に、未来の診断技術として、「光による生体計測」を用いた研究を紹介してくださいました。術前化学療法の治療効果判定予測ではFDG-PETと組み合わせることにより治療効果予測能のさらなる向上が示されたそうです。先生の益々のご活躍を祈念し、研究成果を楽しみにしております。

超音波部会　澤口　信孝

令和4年度第9、10回告示研修（実技研修）　報告

令和５年２月25日、26日
静岡県立総合病院

令和４年度第９、10回告示研修（実技研修）を令和５年２月25日、26日の２日間にわたり、静岡県立総合病院にて開催しました。

令和３年７月９日医政発0709第７号「臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令等の公布について」が厚生労働省医政局長より発出され、診療放射線技師の業務範囲の見直し等が行われました。具体的には①静脈路に造影剤注入装置を接続する際に静脈路を確保する行為、②動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く。）及び造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為、③下部消化管検査のために肛門に挿入したカテーテルから注入した造影剤及び空気を吸引する行為、④上部消化管検査のために鼻腔に挿入されたカテーテルから造影剤を注入する行為及び当該造影剤の注入が終了した後に当該カテーテルを抜去する行為、⑤核医学検査のために静脈路に放射性医薬品を投与するための装置を接続する行為、当該放射性医薬品を投与するために当該装置を操作する行為並びに当該放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為です。以上の業務を行うための絶対条件として、医療の安全を担保することが求められています。そのため、日本診療放射線技師会が主催し各県で業務追加に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とした研修を基礎講習の修了者を対象に実施しました。受講者数は２月25日が46名、２月26日は43名でした。

午前中は動画視聴を行いました。1.造影剤を使用した検査や核医学検査のために、静脈路を確保する行為、放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為を30分。2.核医学検査のために、放射性医薬品を注入するための装置を接続し、装置を操作する行為を40分。3.動脈路に造影剤注入装置を接続する行為、動脈に造影剤を投与するために造影剤注入装置を操作する行為を60分、4.下部消化管検査（CTコロノグラフィ検査を含む）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為を45分。5.上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為を20分行いました。

午後からはシミュレーター、実習機材等を用いた静脈実技、動脈実技、上部下部消化管実技、核医学及び静脈（CT）実技の実習に入りました。医師１名、看護師１名、ファシリテータ６名のもと、受講生を６チーム（A～F）に分割し、２名１組として１チーム８名４組で実技研修を受講していただきました。

静脈実技では８ブースを準備して看護師とファシリテータが講師となり、１ブース２名１組で穿刺役、患者役をそれぞれが担いました。その都度、講師からチェックが入りその場で指導を受けており、シミュレーション通りに終えないので刺激がある実習になりました。

動脈実技では４ブースを準備して医師とファシリテータが講師となり、１ブース４名２組で清潔役、補助役をそれぞれが担い、ガウンテクニック、造影剤注入装置に接続する行為について、講師からのデモンストレーション後に順次手順に沿って各人が実習を行いました。

上部下部消化管実習では、各４ブース準備をしてファシリテータが講師となり、１ブース２名１組で行いました。下部消化管は肛門からカテーテ

ルを挿入、造影剤及び空気を吸入する行為の実習を、上部消化管では鼻腔カテーテルより造影剤を注入する、抜去する行為の実習をシミュレーターを使用して行いました。

RI実技及び静脈（CT実技）では、各４ブースを準備してファシリテータが講師となり、１ブース２名１組で行いました。造影検査手技の操作手順、核医学検査の操作手順の実技を講師よりその都度指導を受けながら行っていきました。

告示研修は厚生労働大臣が指定する研修であり、令和６年４月１日前に診療放射線技師の免許を受けた者は、追加された行為を行おうとするときはあらかじめ受講が義務付けられています。

追加された行為を診療放射線技師が実施するか否かはそれぞれの施設の考え方によります。いつ何時、実施するように依頼されても良いように準備しておくことがこの研修会に参加する意義だと思います。この研修会をベースに、更に各施設において教育、研修を行い安全、安心な医療を提供するようにお願いしたいと思います。

生涯教育委員　曽我　隆正

第16回静岡県MRI技術研究会　報告

令和５年３月11日(土)
B-nest静岡市産学交流センター ペガサート６Ｆ プレゼンテーションルーム

令和５年３月11日に第16回静岡県MRI技術研究会をハイブリッド開催いたしました。事前参加登録93名に対し、研究会当日の参加者は計86名（実参加率：約92%）であり、現地参加15名、Web参加71名でした。また地域別でみると県内39名、県外47名（22都道府県）という内訳でした。今回の参加傾向を踏まえ、今後は県内施設の方々に現地でご参加いただけるような企画や宣伝をしてまいりたいと考えております。

今回の研究会テーマは「MRIの定量検査」であり、会員発表（30分）を２題、教育講演（60分）を１題の構成で企画しました。

会員発表では、はじめに藤枝市立総合病院の大川剛史会員に頭部領域における定量についてご発表いただきました。ADC・MRSの撮像ポイントを中心に、自施設での転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療後の症例を交えながらご説明いただきました。定量解析を行う際は撮像パラメータを固定すること、SNRを担保すること、正常例の蓄積が重要であるとご講演いただきました。

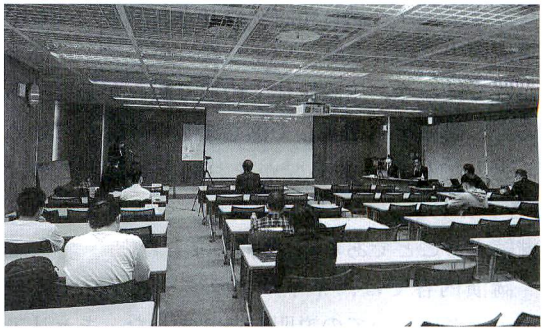
続いて、静岡県立総合病院の井上皓平会員に心臓領域のＴ１mappingについて導入、撮像、解析の観点からそれぞれのポイントを解説していただきました。心臓のＴ１mappingを行う際は施設基準値の設定が必要であること、再現性の高い収集スキームであるMOLLI法の特徴について詳しくお話しいただきました。

教育講演では、心臓MRIをご専門とされている三重大学の石田正樹先生に「マルチパラメトリックCMR：心疾患の診療にどう使う？」と題してご講演いただきました。Ｔ１・ECVmapping解析のポイントなどの技術的な話題のみならず、パラメトリックマッピングが診療にどのように役立っているかについて実際の症例・画像を用いてわかりやすく解説いただきました。またシネMRIやFeature Trackingを診療で使用する際のポイントについても触れていただき、情報量の多い非常に参考になる講演でした。

「定量」となると苦手意識を持つ技師も少なくないと思いますが、昨今のMRI装置やアプリケーションの進化に伴い定量技術の臨床応用はさらに進んでいくと考えられます。これを扱う放射線技師は、信頼できる定量値を提供するために知識やスキルを身につける必要があります。今回の研究会が情報収集や、スキルアップの良い機会になっていただけたならうれしく思います。

今後も有益な情報を発信できるよう努めて参りますので、引き続き当研究会をよろしくお願いいたします。次回研究会は2023年10月14日（土）を予定しております。

最後に当研究会の開催に際してご尽力いただきました皆様、講師を引き受けて下さった皆様に厚く御礼申し上げます。



MRI部会長　大石　恵一

令和４年度静岡県放射線技師研修会

令和５年３月18日
web配信

令和５年３月18日（土曜日）に、令和４年度静岡県放射線技師研修会を開催しました。今年度も昨年度同様、WEB配信方式での開催を実施しました。研修会には22名の会員が参加しました。

今回の研修会開催目的は、段階的な人材育成を学ぶことでした。講演として、聖隷健康診断センター放射線課技師長で県技師会副会長である小林秀行先生に、「診療放射線技師のクリニカルラダー・新人教育から定年までの人材育成のノウハウ」としてご講演いただきました。会告の一部を抜粋します。「我々技師の技術は、一朝一夕で身につくものではなく、かつ、年齢や経験によって学ぶことにも違いがあります。今回、段階的な成長・人材育成方法の学習を目的としたクリニカルラダーの研修会を開催いたします。」・・・すみません。私、甘く見ておりました。「段階的な」教育ということで、新人、若手、中堅、指導的立場やその後定年までの身に着けるべきこと・やるべきことの指針なり方向性を教えていただき、自施設での参考にさせていただければ、あわよくば明日からでも実行できればと考えていたのですが、「一朝一夕」で出来るものではありませんでした。聖隷病院関連施設でも、教育に対して現在の形になるまで色々と試行錯誤を繰り返してきたことが、講演の中で紹介されていました。さらに、一部署だけではなく、施設全体での取り組みが必要であると、講演をお聞きして感じました。今から始めるとして何が一番必要かをお聞きしたところ、「ツールの導入は比較的容易い。一番重要なのは継続することである。」と伺いました。

講演内容では、キャリアラダーと１on１ミーティングについての説明がありました。キャリアラダー（クリニカルラダー）は、計画的なキャリア開発プランのことで、経験年数に応じた行動や知識などの習得度を確認するためのツールです。講演の中で、「キャリアラダーはあくまでツールであり、それをどのように活かすかが重要で、活かすことによって医療人・科学者としての資質向上につながる。」と語られていました。１on１ミーティングは、１対１で行う上司と部下の面談のことで、特徴的なのは短時間で頻繁に実施する点です。まだ十分に浸透していないツールとのことですが、部下の成長を促進することができ、信頼関係の構築にも役立つそうです。私の施設でも簡単な行動目標・教育チェックシートを用いた評価を実施していますが、活かしているとはとても言い難く、実施について「給料も変わらないし、やらなくても良いのでは？」という声がありました。講演後、その点についてどのようにモチベーションを維持しているのかを尋ねたところ、「ツールを使用することで、自分の現在の立ち位置が確認できることを各人が意識することで、自分に何が足りないか、これから何を為すべきかの指標になる」とのことでした。

近年診療放射線技師の職務は専門分化され、かつ深化が進んでいます。従来の子弟制度の様な教育方法では、十分な技術の伝達やモチベーションの維持が難しい時代となっています。今後の業務を実施・継続していくうえで、人材育成システムの構築は必須であると考えます。

企画調査委員　廣澤　賢一

第56回　アンギオ部会研修会

令和５年３月25日（土）
WEB開催

令和５年３月25日（土）に、第56回　静岡県放射線技師会　アンギオ部会研修会をweb型にて開催いたしました。

今回の研修はメーカー講演として２講演、会員発表を３演題、特別講演を１講演、演者に発表を賜りました。

まず、共催メーカーでありますGEヘルスケアファーマ株式会社様より造影剤について情報提供をしていただきました。

メーカー講演ではシーメンスヘルスケア株式会社様より最新のアンギオ装置・技術について、講演いただきました。最新３D撮影技術において感銘を受けましたので３点ご紹介させていただきます。①正側アーム同時回転３D撮影技術により３D撮影時に側面アームの退避不要なこと、②連続往復回転撮影技術により、１往復のマスクランと４往復のフィルラン撮影で血量評価が可能になること、③二重起動回転技術によりコーンビームアーチファクトの抑制ができること　文章でお伝えすることが難しいですが、３D撮影のワークフロー向上と頭部CTライクイメージングの高画質化が期待できるため、放射線技師としては魅力的な機能をご紹介いただきました。

会員発表では、静岡県立総合病院の前林 晴也会員、中東遠総合医療センターの武藤 宏会員、岡村記念病院の柏崎 大地会員に「アンギオの新人研修」というテーマで発表をしていただきました。前林会員からは「はじめての清潔介助」という演題で、前施設にてアンギオ経験者でありながらも、施設によって放射線技師に求められる役割は異なるため苦労をしたという経験を実直に紹介いただき、アンギオの教育の難しさを共感いたしました。武藤会員からは自分が教育を受ける中で苦労した経験から、新たに検査フローチャートを作成したことをご紹介いただきました。過去の教育方法を見直し、現在の検査内容や運用に合った教育方法にアップデートしていくことは簡単な作業ではありませんが、各施設やるべきこととして再認識を致しました。柏崎会員からは教育におけるポイントとして①画像の基礎知識②入室準備③物品管理④物品出し④手技のサポート に分けて細かく紹介いただき、非常に参考になりました。

特別講演では浜松医科大学医学部附属病院 循環器内科 大谷 速人先生より「SHDに対するカテーテル治療」というタイトルでご講演賜りました。構造的心疾患（structural heart disease：SHD）とは弁膜疾患、先天性心疾患、心筋疾患など、心臓の構造異常によって病的状態をきたす心臓の疾患群です。今回は、①大動脈弁狭窄症における治療：TAVIと②僧帽弁閉鎖不全症における治療：TEER（MitraClip）について説明していただきました。診断のポイントや外科手術とカテーテル治療のどちらが治療に適しているか、患者さんへの説明の仕方、実際の手技のポイントなど詳細に説明いただきました。ハイブリッド手術室のあるないに関わらず、非常に勉強になる内容でありました。SHDに対するカテーテル治療（SHD intervention）は近年増加傾向にあります。TAVIやMitraClipはハイブリッド手術室で行う施設が多いですが、各職種の立ち位置や機械のセッティング、放射線防護等、今後の課題についても提言いただき、技師として取り組むべきことを把握できました。

最後にwebにて参加いただいた会員の皆様、快く発表をお引き受けいただいた会員の皆様、貴重な講演を賜りました大谷先生、ご協力いただいたメーカーの皆様、この場を借りまして心より御礼申し上げます。

アンギオ部会長／萩原　雄三

第12回（公社）静岡県放射線技師会通常総会
第27回静岡県放射線技師学術大会

令和５年５月28日
静岡県男女共同参画センター「あざれあ」６階大ホール
（現地＋WebのHybrid開催）

令和５年５月28日（日）静岡駅から徒歩５分とアクセスが良好な「あざれあ６階大ホール」で第12回（公社）静岡県放射線技師会通常総会、第27回静岡県放射線技師学術大会が開催されました。参加人数は、正会員144名（会場：96名、web：48名）、賛助会員１名、非会員14名、一般県民２名、高校生19名会場：７名、web：12名）、技師学校生15名の198名でした。

天候は、晴れていて穏やかな過ごしやすい１日でありました。今回はコロナウイルスが５類に移行したことを受け、３年ぶりに会場での参加制限なしで盛大に開催されました。また、髙橋会長の意向でより多くの会員に参加をしていただくためにwebでの聴講も可能としたハイブリッドでの開催となりました。

内容の充実した学会で会員や県民に方に満足していただけたものと思います。

第12回（公社）静岡県放射線技師会通常総会

総会の初頭、髙橋会長により会長挨拶が行われました。

会長から厳しい医療環境の中でも診療放射線技師がチーム医療の一員として県民への医療の安全と高度な医療情報の提供は継続的に遂行し、更なるスキルアップと効率的な医療の実践こそ、県民に対する保健医療の向上に寄与するものであり、県技師会の公益社団法人取得への認定申請など、厳しい認定基準をクリアに向けて努力すること、入会促進セミナーを日本診療放射線技師会と連携して行い会員の増加と会の活性化を図ること、入会金および再入会金（会費滞納によるものは除く）の無料化、会費の納入期限の徹底、ホームページを活用した会運営の円滑化などの話がなされました。

表彰式では永年勤続表彰、勤続20年、35年と役員表彰の代表が賞状と記念品を受け取りました。議事では、令和４年度事業報告・決算報告・監査報告、事務所運営に関する報告が行われました。

採決結果は、ハガキによる賛成と会場のほぼ満場一致で可決されました。会員からの質疑もあり活発な意見交換も行われました。職能団体として、今以上の会員から信頼ある組織作りの必要性を感じる総会であったように思います。

ランチョンセミナー

今回のランチョンセミナーは、『放射線診療における AI 技術の現状』をテーマに読影支援に関するAI技術とMRIにおける撮像技術に関する分野で国内外を代表するメーカー２社に講演をして頂きました。

キヤノンメディカルシステムズ株式会社の梅田 祐司 先生による『医療 DX 時代における読影支援ソリューション』と株式会社フィリップス・ジャパンの上田 優 先生による『革新的高速イメージング："SmartSpeed AI" による高速化と高画質化の両立』と題し講演頂きました。

本セミナーでは、AI技術の活用について、明日からの放射線診療に結びつく最新の情報が得られたとともに、未来の構想も含めて、画像診断のこれからの方向性を描けるセミナーになったのではないかと思います。また、各メーカーが開発した技術をどのように使うかは、私たち診療放射線技師をはじめとしたあらゆる職種にかかっているため、共により良い運用や良い医療の在り方を考える良い機会となりました。

公開講演

公開講演では、名古屋大学医学部保健学科　放射線技術科学専攻　准教授の小山修司先生に、『診療放射線技師を目指そう　-大学教員からのメッセージ』と題し、ご講演頂きました。

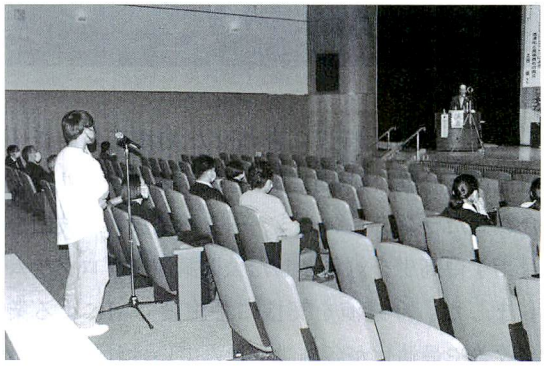
講演では、診療放射線技師の仕事、学生の授業内容、卒業後の進路や研究についてと、盛りだくさんの内容を丁寧にお話して下さいました。

診療放射線技師の仕事では、通常の業務内容の他に、タスクシフトとして静脈確保が行えるようになったことや、コメディカルの中では平均年収が高い職種であることが紹介されました。

学生の授業内容は、放射線生物学を例に放射線の人体への影響をわかりやすく解説して下さり、学生時代を思い出しながら拝聴させて頂きました。

大学院のお話では、社会人の大学院進学のお話もあり、学生のみならず、現在診療放射線技師として働いている人にも刺激になるお話だったと思います。

今回の講演には、高校生もたくさん参加していました。診療放射線技師について、多くの情報を知る事ができ、今後の進路を考える上で、参考になったのではないかと感じました。



研究発表

今回の研究発表は、X線撮影（３演題）、MRI（５演題）、放射線管理・情報管理（４演題）、放射線治療・核医学（３演題）、CT（５演題）の５つのセッションに分かれて各施設の会員より20演題の発表がありました。質疑応答の時間では、座長を中心とした活発な質疑応答が行われていました。多様な業務における工夫、新しい機能の検証、AIによる検討などの発表があり、視聴した会員にも大変に参考になった事も多かったのではないでしょうか？時間的にも厳しい中で進行していただいた座長の皆様に感謝申し上げます。

診療放射線技師の研究発表できる学会の中で、県学術大会は若手技師やスキルアップする意欲あ

る技師の研究発表を行う学会として最適であると思います。今後もこのような場を有効に活用していただき、会員の皆様と協力してより一層の盛り上がりのある学術大会にしていきたいと思います。そして、全国学会や専門分野による学会で多くの静岡県の診療放射線技師が活躍していただきたいと思います。

最後に

今学会では、時代に合わせたAI技術の最新情報提供と診療放射線技師を育成することに焦点を合わせたランチョンセミナーと診療放射線技師を目指す中高生を対象とした公開講演をプログラムしました。今講演を契機に各施設でAIによる業務改善や最適化が各施設で進んでいければと思います。また、公開講演では約20名の高校生に視聴していただき一定の効果はあったと思います。今後も県民の需要にあわせた企画を継続できればと思っています。

ランチョンセミナーの昼食が会場で食べられないこともあり、協力メーカーや会員の皆様にご迷惑をお掛けした事、深くお詫び申し上げます。

県技師会役員の方々、中部地区会の方々、会員の方々、そしてご協力頂いたメーカーの方々のご協力があり、無事に総会及び学術大会を終える事ができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。また、今後も魅力ある学術大会を行えるように努力していきますので、会員の皆様のご協力とご理解をお願いいたします。

（学術委員長　寺田　理希）

学術論文

第7回ワークバランス検討委員会研修会

タスクシフトの取り組みについて

地方独立行政法人静岡市立静岡病院　増田 秀道

【背景】

2024年４月、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が施行される。昨今、医師の長時間労働が問題となっているが、この法改正により勤務医の時間外労働の上限は原則年間960時間、特例で一部の医師の時間外労働の上限が年間1860時間に設定される。

それに先駆け、医師の働き方改革の推進のため、現在医師が担っている業務を他の職種が行えるよう2021年10月の法改正で診療放射線技師（以下、放射線技師）、臨床検査技師、臨床工学技士及び救急救命士の業務範囲が拡大された。

これに伴い、当院では、2021年５月頃からタスクシフト/シェアに継続して取り組んでおり、まだ道半ばであるが、その現状と課題を報告する。

I. タスクシフトした項目

現行制度下（2021年10月以前）で実行可能なものには以下で示す８項目がある。

① 撮影部位の確認・検査オーダ代行入力等
② 画像誘導放射線治療（IGRT）における画像の一次照合等
③ 放射線造影検査時の造影剤の投与、投与後の抜針・止血等
④ 血管造影・画像下治療（IVR）における補助行為
⑤ 病院又は診療所以外の場所で医師が診察した患者に対するエックス線の照射
⑥ 放射線検査等に関する説明、同意書の受領
⑦ 放射線管理区域内での患者誘導
⑧ 医療放射線安全管理責任者

このうち、網掛けの６項目を実施している。

また法令改正で実行可能（2021年10月以後）なものには以下で示す６項目がある。

① 造影剤を使用した検査やアイソトープ（以下RI）検査のために静脈路を確保する行為、RI検査医薬品の投与後の抜針及び止血を行う行為
② RI検査のためにRI検査医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為
③ 動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く）、動脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為
④ 下部消化管検査（CT コロノグラフィ検査を含む）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為
⑤ 上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為
⑥ 医師又は歯科医師が診察した患者について、その医師又は歯科医師の指示を受け、病院又は診療所以外の場所に出張して行う超音波検査

このうち、網掛けの２項目の実施を目指している。

II. タスクシフトするに至った経緯

今回のタスクシフトを前提とした法改正には、放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士など多職種が対象となる。

当院はコメディカル６職種で医療支援部を構成（図１）しており、各科長による月１回の会議で

今回のタスクシフトにかかわる進捗状況、課題などを話し合うことで全体の意思統一を図っている。またその内容は病院の決定機関である病院運営会議に報告され、上層部にも状況の把握がなされている。以前から、医師の時間外業務が多いことは問題になっており、病院長はタスクシフト推進派で早い段階の2021年５月から支援部では議題に上がっていた。

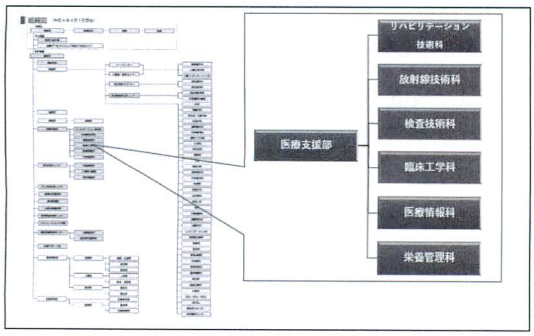


図１　病院と医療支援部組織図

Ⅲ．導入までのプロセス

タスクシフトの導入に際し、管理の面では、告示研修受講計画を含む導入計画・院内研修計画と、システム/ハード面では、薬剤の副作用による急変時対応及び血管確保困難時の対応方法を事前に検討した。

まず静脈路確保業務の導入計画（図２）を示す。現在は、RI、CT、MRIともに静脈路確保は看護師及び医師が実施している。造影剤注入はCT、MRIは装置に連動しているため技師が行い、抜針業務は看護師が主となり、一部技師も行っている。静脈路確保のための人員配置はCTに２名の看護師、MRIとRIは配置が無く、その都度治療担当看護師を呼び出して行っている。

それを2023年４月から、技師１名を増員してMRIとRIの静脈路確保を行うこととした。さらに2024年４月から技師１名を増員しCTの静脈路確保を行うことで、現在２名配置されている看護師を１名に減らし、技師１名＋看護師１名の２名体制で造影剤注射業務を行う計画を立てた。

この計画は増員が前提のものだが、その他にも私自身が2020年６月に告示研修を終えて、増員しなくても、またさほど経験が無くても実施可能な業務があることに気づいた。それはアイソトープのTc製剤による負荷心筋シンチの薬剤再注入業務である。その行為に関しては2022年10月から技師が行っている。また計画全体の進捗状況は現時点（2023年２月）で2023年４月からRIとMRIの静脈路確保に向けた増員が決定している。

図２　静脈路確保業務の導入計画

次に告示研修受講計画（図３ａ）であるが、告示研修は放射線技師以外にも臨床検査技師と臨床工学技士も対象のため病院全体の受講費用は高額となる。そのため、人事課と相談し、１年目は会員が優先的に受講、２年目に非会員であるが早期タスクシフトを行う部署の職員が受講、３年目は残りの非会員職員が受講することで年ごとの費用を分散させる計画を立てた。また、受講費用は会員非会員問わず病院が全額負担し、実技研修が行われる土日は勤務扱いとし、振替休日を支給することとした。

2023年２月現在の進捗状況（図３ｂ）は、新型コロナの影響で2021年には実技研修が開催されず、2022年に受講者が集中したが、告示研修修了者は

2020年3月計画

年度	計画	費用	対象者の基準
2021年	20名	20万	技師会員
2022年	7名	21万	非技師会員でMRI,RI,CT担当
2023年	9名	21万	・非技師会員で主に治療,カテ担当 ・2022年度採用含及び再任用 ・再任用/パート

2023年2月現在

eラーニング申し込み	全体の進捗率	実技研修修了	全体の進捗率
２３名		新型コロナ開催なし	
２名	約70%	１９名	約53%

図３ａ　受講計画　　図３ｂ　受講状況

19名で職員全体の約５割である。

院内研修計画を立てるにあたっては看護部に導入計画を説明し、

① 新人看護師の注射に関する研修への参加

② 模擬実技研修用のダミー借用

③ 初期実施時のOJTで看護師よる指導

に対して協力を依頼した。①に関して、2022年４月の研修時に、放射線技師で告示研修を修了した者はいなかったものの、３名が参加した。この研修は毎年４月のみの開催であり2023年には対象者が大人数となるため受講方法を考え直す必要がある。

②に関して、模擬血管のダミーを放射線技術科内のスタッフルームに常設し、作成した手順書（図４）をもとに隙間時間で自主的にトレーニングできるようにした。また指導看護師による審査を行い、合格後に次のOJTに進むこととした。

③に関して、看護師によるOJT（図５）を実施し、合格した者は単独での業務に移行することとした。

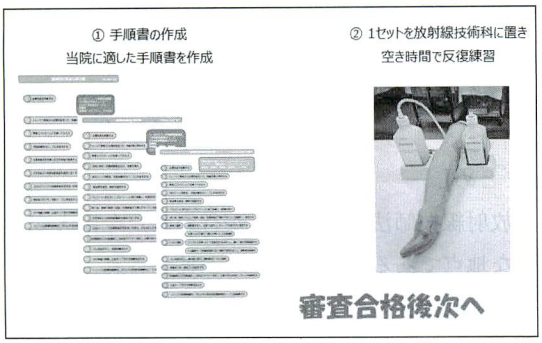


図４　手順書と模擬血管によるトレーニング

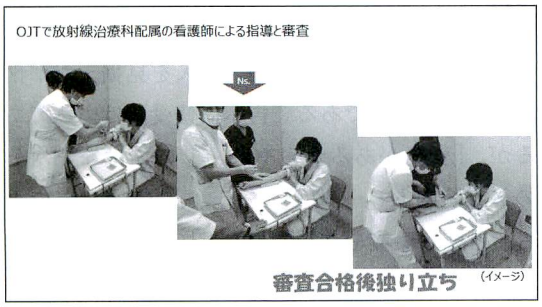


図５　看護師によるOJT

次に薬剤副作用による急変時の対応について、当院の放射線関連エリアは図６に示すように建物と階が離れている。CT室は救急の隣に位置しておりMRIはその地下にある。

RIは別棟の地下にあり放射線治療と隣り合っている。10年程前は、研修医がCTに常駐し医師が造影剤の注射業務を行っていた。それを看護師に業務移管した際に急変時の対策としてCTとMRIに専用回線（インターフォン）を繋いだ。会話も可能であるが、急変時は対応スピード優先し、ブザーのみでも救急スタッフが駆け付ける対応を行っている。

またインターフォン自体のブザー音は小さいため、救急現場で気づかない場合を考慮して、ブザーが押されると天井部に設置したパトランプが点灯し、警報音で知らせるシステムを構築した。

実際に年２、３回緊急Callしているが Drハリーコールより迅速な対応ができており、タスクシフトした場合でも、現在のシステムで十分対応できると考える。

RIについては、薬剤の副作用はかなり少なく、看護師が常駐している治療室が隣に位置しており、すぐに看護師で対応可能である。また必要時にはDrハリーコールする運用で対応予定である。

図６　放射線関連エリア

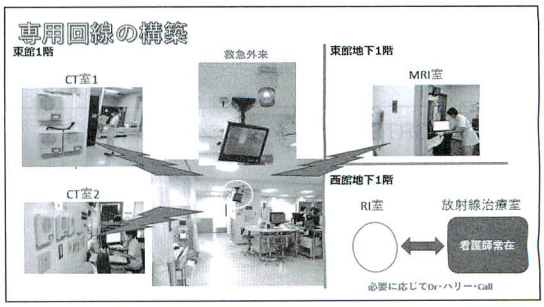


図７　急変時の対応

血管確保困難な場合の対応は、既存のCTの看護師注射時のフローチャートを参考にして作成した（図８）。最初に駆血した状態で取りやすい血管の有無をチェックし、ない場合は看護師に確保を依頼する。ある場合は２回までチャレンジし、無理なら、看護師に依頼する。さらに看護師でも無理な場合は、依頼医師に連絡し、血管確保してもらうか、中止にする判断を仰ぐ。

回数を指定しているのは、複数回のトライで比較的取りやすそうな血管が潰れ、次の人が血管確保できる可能性を著しく下げてしまうことを予防するためである。

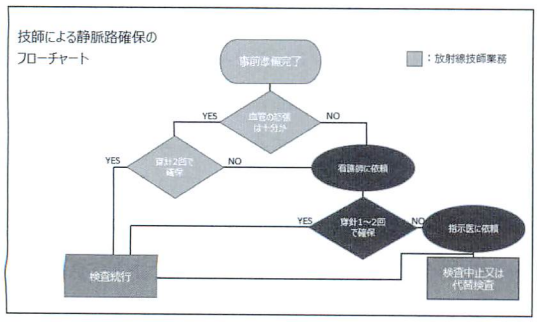


図８　血管確保困難時の対応フローチャート

Ⅳ．導入後の環境変化と課題

当院での実施したタスクシフトにおいて、図９～12に示すように、メリットとなる変化も多く見られる。また課題は今後改善していく予定である。

放射線治療：IGRTの画像による一次照合

（マンモ照射以外は全症例IGRTで行っている）

【変化】
・照射作業がスムーズになり時間の短縮が図られた。（技師）
・診療業務に集中できる。（医師）

【課題】
・定位やIMRT・4門以上・原体照射以外は診療報酬算定ができない。

年度	一次照合件数
2020	5113
2021	4459
2022（～'23/1実績）	5058

図９　IGRTにおけるタスクシフト変化と課題

アイソトープ：負荷心筋シンチにおける薬剤再注入業務

【変化】
・スループットが向上した（技師）
・呼出回数が減って他の業務に集中できる（看護師）

【課題】
・ルートが詰まった際の対応を看護師に依頼
・注入漏れの不安

年 月	Tc負荷心筋シンチ件数
2022年10月	43件
11月	28件
12月	43件
2023年1月	47件

図10　RIにおけるタスクシフト変化と課題

血管造影：アブレーションの補助業務

【変化】
・技師の手技への理解が深まった。（技師）
・助手1の時は大変助かっている（医師）

【課題】
・医師が求めるスピードに追従できるか否か
・熟練者／アブ担当／カテ担当：2名／5名／12名
・熟練技師は約40例以上の経験が必要で育成時間がかかる
・スタッフから必要性に対する疑問もあった

（archives HP/YouTubeから引用）

年	心筋焼灼術件数
	（助手1＋助手2）/総件数
2020	(2+1) /211
2021	(8+40) /301
2022（～'23/1実績）	(73+132) /365

図11　カテにおけるタスクシフト変化と課題

医療放射線安全管理責任者：診療用放射線の利用に係る安全な管理業務

【変化】
・DRLｓへの意識向上
・装置のＱＡ/ＱＣの取り組みの向上
・実務者が担うことで現場管理体制や推進が直接行える

【課題】
・医療被ばく報告書の件数が多い
・正当化への関与が難しい

年度	報告書件数
2020	242
2021	351
2022（～'23/1実績）	259

図12　医療放射線安全責任者におけるタスクシフト変化と課題

【まとめ】

放射線技師法の法令改正が行われた今は大変重要な地点である。我々の業務が拡大され、今後周知されればタスクシフトは広く進むことであろう。次世代の技師の地位向上を目的とした場合、業務拡大は負担ではなく、チャンスととらえて行動すべきである。施設によってはタスクシフトに対する姿勢は異なるであろうが、導入を見据えた準備はしておくべきである。告示研修受講は当然であるが、「資格があるからやれる」のではなく、その後の院内トレーニングを行い、「安心してできる」という環境を整えるのも大切である。

学術論文

令和４年度静岡県放射線技師研修会

『新人教育から定年までの人材育成のノウハウ』

聖隷福祉事業団保健事業部聖隷健康診断センター　小林 秀行

１．我々を取り巻く情勢

１）企業内人材育成の課題

一般企業における「いい職場」「悪い職場」の違いは何か。就職・転職者向けサイトを運営し、約1400万件の社員口コミなどを集めるオープンワークが提供している、約3400社の上場企業のうち、2019～2021年の口コミから頻出されたワードを調査しています。その上位５％で最も多いのは「共感」ということで、続いて「フラット」「自由闊達」と共に壁のない職場を想起させています。一方、下位５％は「ワンマン」「イエスマン」など閉塞感が漂うワードが並びます。成長力の差は鮮明で、上位と下位、それぞれの2021年度の純利益合計額を３期前と比べると、前者は7.7%増え、後者はマイナス2.4%に沈むという結果となりました。ワードからもわかるようにその組織が持つマインドの醸成は非常に重要となります。

企業における人材育成への取り組みについてデータを見ていくと、「人材育成ポリシーの共通言語化」は６割がされていない結果となってます。しかし、規模別でみると5001名以上の大企業では逆に６割以上が言語化はされており、中小企業では進んでいない結果となっています。

また、従業員の育成に関する悩みとして、「人員・時間・コスト・ノウハウの不足」「経営層・上司の理解・意識不足、マネジメントの問題」「人材育成ポリシーが不明確」「研修で学んだことと現場との隔たり」「育成する風土がない」といったことが上がっています。

２）診療放射線技師を取り巻く環境の変遷

2014年６月に診療放射線技師法の一部改正がなされ、一部業務の拡大が認められました。

それに伴う統一講習会が2015年より開始されています。

2020年４月に医療法施行規則の一部が改正施行されました。これは医療放射線安全にかかる安全管理体制を整備することが対象となる放射線診断装置を設置している施設に義務付けられる法律となります。責任者の設置や指針の策定、また、医療被ばくの線量管理や線量記録などを実施することが求められることとなりました。

図１．第７回医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会　資料

2021年７月には医政局初発0709第７号「臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令等公布について」が厚生労働省より発出されました。業務範囲の見直しが行われ、「静脈路の確保（造影剤・RI検査使用に限る）」「動脈路に関する業務」「下部消化管に関する業務」「上部消化管に関する業務」「病院外での超音波装置を用いた検査」が告示研修によって実施できることとなります（図１）。

2．聖隷福祉事業団における人材育成システム

1）事業団における研修体系

・事業団キャリアパス

事業団キャリアパスとは「職業経歴上の道筋」であり、職員が自ら描いた将来像を実現できるよう、職員に求められる能力や役割、人材育成の体系、研修を明確に示したツールで、その関連性をわかりやすく表したものが「事業団キャリアパスの概念図（図２）」です。

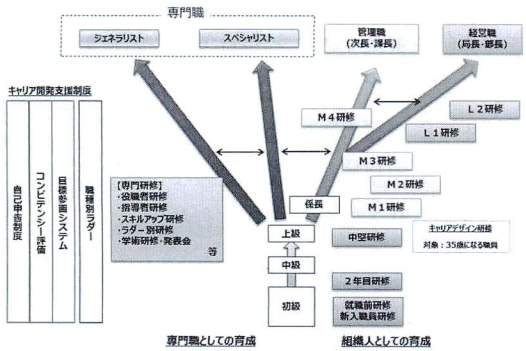


図２．聖隷福祉事業団キャリアパス資料

・階層別研修

「新人研修」「２～３年目研修」「中堅研修」「マネージャー研修」が実施されています。その他に「中途採用者研修」「ファシリテーター研修」「キャリデザイン研修」「女性活躍関連研修」が企画され、実施されています。

・職種別専門研修

職種別での研修が実施されており、専門性を活かした研修が実施されています。医療技術部門では、栄養部門、臨床工学部門、リハビリテーション部門、薬剤部門、そして放射線部門で実施されています。

2）放射線部門におけるシステムの構築

①　聖隷放射線部門職務基準書の策定（2001年～）

新規事業の拡大に伴い、中堅職員が即戦力として新たな職場へ配属されることが必要となりました。それに伴い、多くの新規採用が始まります。また、施設間における人事ローテーションも施設の数が増えることにより、盛んに実施されるようになりました。以上の背景より人材育成ツールの必要性が高まり、職務基準書が策定されました。

☆職務基準書の目指すもの、ねらいとして

・放射線技師の臨床実践能力を評価し、動機づけと教育的サポートの基準にする
・放射線技師の職務の満足度を高める
・放射線技師の個々のキャリア開発に役立てる
・自立したプロの放射線技師の育成を目指す
・教育ローテーションの資料とする

☆職務基準書に関わるスタッフの定義として

・学習者：目標を達成する職員
・担当者：学習者が目標を達成するために実質、指導を行う職員
・教育責任者：学習者の職務基準書を通しての目標達成の責任者
・担当役職者：職務基準書を遂行する上での統括、責任者

☆レベル別作成における項目として

・Need：要求と必要性
・GIO：一般目標（General Instructional Objectives）
・SBO：行動目標（Specific Behavioral Objectives）
・LS：学習方略（Learning Strategies）
・TS：教授方略（Teaching Strategies）

☆運用上のポイントとして

・マニュアルの作成
・個人ファイルの作成
・集合研修の開催
・学習の評価方法の標準化

について重点的に取り組みを行っています。

②　クリニカルラダーの策定（2013年～）

職務基準書策定時の部門の診療放射線技師数は100名にも届かない状況でしたが、10年の間に200名を超える組織へと成長しました。若い技師が多い中、今後、放射線部門として、人事戦略をたてた上で、育成をしていくことが必要と考えました。

現状把握、今後のスタッフの年齢構成の推移、SWAT分析（図３など）を行い、今後の人材育成の方向性について分析を行いました。その結果、職務基準書とは別に役職者も含めた新たなラダー構築が必要であるとの結論に至りました。以上のことから、クリニカルラダーの構築を開始しています。職務基準書は経験年数によりレベル分けを行っていますが、クリニカルラダーは知識・技術の習熟度によりレベル分けをしています。

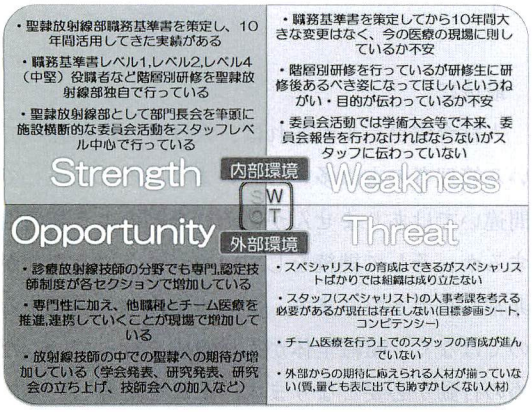


図３．SWAT分析

基準ラダーを作成し、モダリティごとのラダーを策定しています。

☆大項目分類

実践　管理　教育　研究

☆ラダーレベル分け

・レベル１：新人技師

・レベル２：一人前技師

・レベル３：中堅技師

・レベル４：スペシャリスト技師

☆モダリティにおける区分け

・一般撮影

・CT

・MRI

・ANGIO（血管撮影）

・GI（上部消化管X線検査）

・MMG（乳房X線検査）

・RI（核医学検査）

・放射線治療

クリニカルラダー担当者を各施設にモダリティごとに設定しています。施設により、装置および実施する検査に違いがあること、運用も異なります。また、放射線機器については毎年のように新しい技術が開発されています。このことから各施設担当者を中心にラダーの内容について、毎年見直しを実施しています。

③　職種別ラダーの策定（2018年～）

事業団キャリアパスが2018年度より運用が開始されたことに伴い、事業団におけるキャリア開発支援制度について定義がなされました。従来から行われていた「自己申告制度」「コンピテンシー評価」「目標参画システム」に加え、あらたに「職種別ラダー」が定義されています（図２）。これは各専門職においてのキャリア開発を支援するツールとするもので、放射線部門としても事業団の意向に従い、職種別ラダーを構築することとなりました。

・キャリアラダーとクリニカルラダー

従来から運用してきた職務基準書を活用し、キャリアラダーとして、継続して運用を実施しています。職務基準書と同様に各階層におけるニード、GIO、SBOを設定し、ノンテクニカルスキルを評価します。経験年数によってキャリアパス階層が上がっていく仕組みとなっています。

職種別ラダーはキャリアラダーおよびクリニカルラダー両方のラダーを運用しています。

クリニカルラダーは前記のとおり、引き続き運用を継続してテクニカルスキルを評価するツールとして、獲得した知識。技術によって階層が上がっていく仕組みとしています。

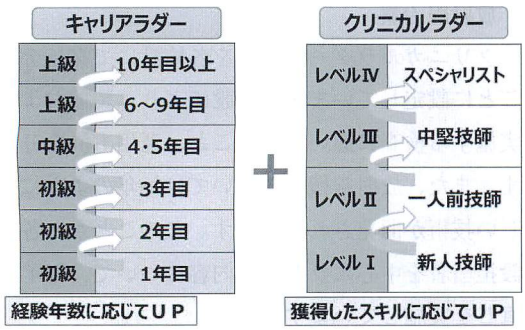


図４．職種別ラダーの全体像

３．現場に求められる人材育成に必要なこと

１）どのように現場のスタッフに経験をつませるか

診療放射線技師は如何にして、そして意図してリーダーシップを発揮し、結果を残すことができるか、が現場で求められています。

２）経験を経験として捉えることのできるＯＪＴの実践

結果を出した経験について如何に経験学習のモデル、内省、概念化、次の実践につなげることができるのか、というサイクルを活用できることが求められています。

３）ＯＪＴができる管理者の育成

診療放射線技師が意図的なリーダーシップを発揮し、経験できるようにするためには、現場で管理するマネージャーのマネジメントスキルの保持は重要です。マネージャー自身がＯＪＴという経験を通し成長することで、マネージャー育成へとつながることが期待されます。

４）経験からさらなるリーダーシップは生まれる

リーダーシップ論の学習、そして多くの経験から、リーダーシップを発揮する手法を選択することができることで、各課題への取り組みに対するバリエーションが生まれます。その課題解決について画一的な方法ではなく、最適な方法を導き出すことが可能となることが期待されます。

５）リーダーシップの経験がマネジメントに活きる

リーダーシップにおけるいろいろな引き出しをもつことで、知識だけではない経験から得られたものを組織のマネジメントに活かすことができることが期待されます。

６）マネジメントの知識および活用

マネジメントについては多くの研究、また著書もあり、自らの経験とマネジメントについて知識を持つことで、組織が持つゴールにむけて運営できる推進役として力を発揮できることが期待されます。

最後に

人材育成ツールがあれば、人は育つ、と思っている管理者の方は多いと思います。それは決して間違いではありませんが、それをどのように活用するか、そして継続をしていくか、ということが非常に重要となります。ツールを作って満足するのではなく、組織全体が人材育成を行っていくための行動が必要となります。それを主導して実施していくには現場のマネージャー、管理者の力がどうしても必要になります。

つまり、現場に優れたマネージャーが必要であり、育成することが必要となるわけです。

また、人材育成ツールを策定するには、今回ご紹介した聖隷の人材育成ツールを他の施設や事業所で使用することは決して良い方法といえません。組織における人材育成における課題、ニーズは何であるのかを分析することが、まずは必要であるからです。その施設、組織によって、スタッフのレディネスレベルは変わっていきます。医療サービス、放射線部門の環境（ひと、もの、情報）はひとつとして同じものはありません。

「組織の人材育成に対する取り組みに覚悟と責任を」もってマネージャーには組織を引っ張っていただくことを期待しています。

学術論文

第56回アンギオ部会研修会

当院のＡＧ新人教育について

中東遠総合医療センター　武藤 宏

当院は掛川市立総合病院と袋井市民病院が統合し平成25年に開院し今年で節目の10年目を迎えます。診療科目は内科・外科・脳神経外科をはじめ全部で32科あり病床数は500となります。AG装置を扱う診療科は主に腎臓内科、循環器内科、外科、脳神経外科、放射線診断科になります。当院は３部屋AG装置があり、全てフィリップス社製となります。心臓血管室では主に循環器内科が使用しスタッフは看護師２名、臨床工学技士２名、放射線技師１名となります。腹部血管室では主に腎臓内科、外科、放射線診断科が使用しスタッフは看護師２名、放射線技師１名となります。頭部血管室は主に脳神経外科が使用しスタッフは看護師２名、放射線技師２名となります。

当院のAG担当技師は14名で構成されています。特徴として心カテ班と頭腹部班の２グループに分かれています。心カテ班は６名、頭腹部班は８名、計14名で構成され６名は両班担当することができます。私は心カテのグループに属しているため、今回のスライドは心カテの内容がメインになりますのでご了承ください。２グループに分かれている理由は、過去にいた医師の対応が非常に難しく、ベテランの技師でないと対応することができないため、このような業務体制になりました。

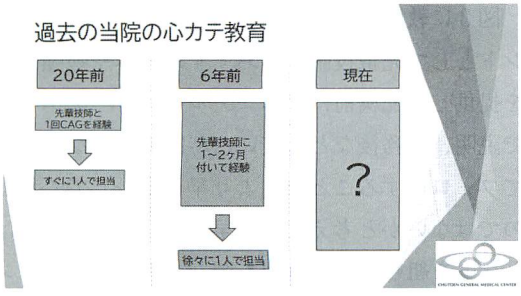


図１　過去の当院の心カテ教育

図１に過去の当院の心カテ教育を示します。20年前は合併前の掛川市立病院の話になります。先輩技師と１回だけCAGを経験してすぐに１人で検査を行う教育体制だったと聞きました。６年前は自分が受けた教育になります。先輩技師に１～２ヶ月付いて経験し徐々に１人で担当するような形となりました。現在の部分については後半のスライドでお話します。

今回新人の教育についての演題をもらった際に、まず自分が過去に苦労したことについて挙げてみました。はじめは解剖に苦労した記憶があります。画像で解剖を覚えても教科書通りのきれいな血管をしている方は少なく、血管を２次元で見ることが苦手でした。先輩技師に「参考書とかありますか？」と質問したところ、あるネットサイトを教えてもらいましたが、当時の自分はあまり理解することができませんでした。次に自分は中東遠が開院して初期の採用者であったため、マニュアルが不十分であり、必要最小限のことしか書いてなかったためかなり苦労しました。３つ目に検査の流れを理解することに苦労しました。検査中に先輩の説明を聞いても、どういった流れなのかが分からないため、最初はあまり理解ができませんでした。何度か検査を経験していくことで、先輩の言った言葉の意味がわかるようになりました。加えて現在の問題点として、マンパワー不足で新人が先輩技師に付いて検査をする時間が少ない状況です。当日の朝、シフトが変わったりすることもあり、若手人材を育てる余裕があまりありません。以上のことから自分の苦労した経験とマンパワー不足の状況を加味し、なるべく短期間で若手が育つ環境作りが大事だと思い今回対策を試みました。

まず１つ目に、解剖を理解するために自分が６年前に横浜の学会で買った「絶対に読めるCAG」の本を渡し説明しています。自分もいろいろな参考書などを見ましたが、この本が一番わかりやすいと感じました。特に冠動脈の見方が書いてあるページがわかりやすかった印象です。１つ下の後輩にも見せたところ、そのあと同じ本を買っていました。これから心カテに配属される方におすすめの本です。また最近はyoutubeにも勉強材料があるので、そちらも活用していくことも現代にあった勉強方法の１つだと思います。

次にマニュアルのことについてです。当院の放射線室にはいくつかのグループワーキングがあり、これは数名の技師で構成され様々な業務改善をしています。教育のグループワーキングでは、毎年各モダリティのマニュアル内容を改定しております。昨年度AGマニュアルが見直され、大幅に更新・修正したものが作成されました。６年前のマニュアルよりもかなり細かいところまで見直されました。誰がマニュアルを見ても同じ方法で業務がこなせるマニュアル作成を心がけて複数人で作成しました。マニュアル内には検査目的、内容、穿刺部の固定方法など詳細に書かれています。

３つ目に検査の流れを理解しやすくするために、今回新たに検査の簡易フローチャートを作成しました。更新したマニュアルと簡易フローチャートを心カテ配属前に説明し、検査の流れを知ったうえで検査することでより短時間で理解してもらえるのではないかと考えました。若手に質問を投げかけて分からないことや疑問点がないか聞いて、問題解決をしています。自分がつきっきりで教えることができたら良いのですが、それはシフトの関係上難しく、今の進行状況を把握するためにも質問をしています。

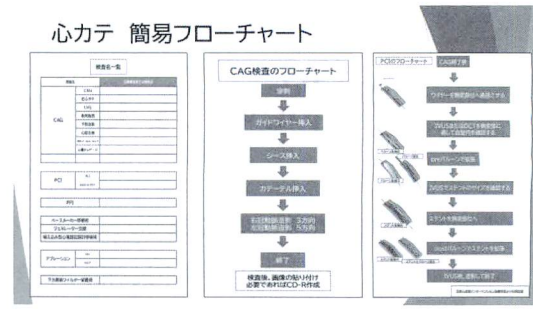


図２　心カテの簡易フローチャート

図２に心カテの簡易フローチャートを示します。まず検査名一覧があり、ここに書かれている検査ができるようになれば１人でも検査をできると考え作成しました。検査名の横には空欄を作成しここには疑問などがあった場合に書き留めて忘れないようにしています。CAGやPCIの検査の流れを少しでも理解してもらうことでより早く一人前になることが出来るのではないでしょうか？また新人の教育だけでなく、実習に来る学生の説明でも用いることができ、１度作ってしまえば、教える側も楽になります。

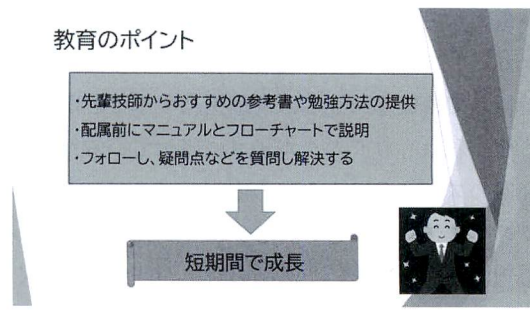


図３　教育のポイント

図３に教育のポイントを示します。教育のポイントとして先輩技師からおすすめの本や勉強方法を提供し、配属前にマニュアルとフローチャートで説明、業務後などの空いた時間で質問などをしてフォローすることで、より早く成長してくれるのではないかと考えます。早く独り立ちになれば、シフトを組む上司の負担も減り、他の業務へマンパワーを回せるのではないかと思います。

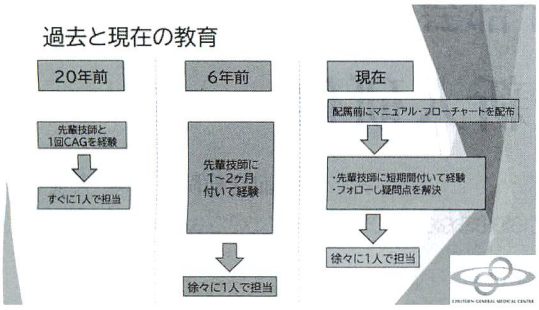


図４　過去と現在の教育

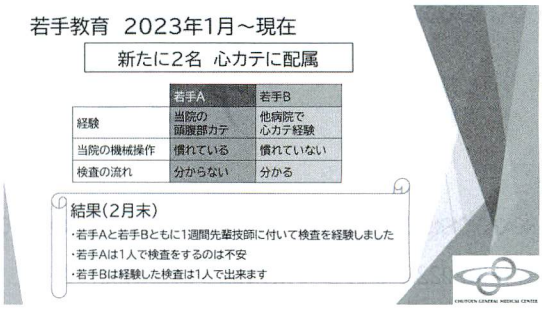


図５　若手教育の結果

これらの対策を考慮し図４に過去と現在の教育を示します。過去と比較して配属前にマニュアルとフローチャートを配布し、フォローをすることが現在の流れになっています。

私が新人の頃に深く感銘した言葉があります。

検査中よりも検査準備の方が大事であり、「段取り８割」という言葉をよく聞きました。検査中ももちろん大事であるが、実は検査前の準備段階で８割方検査の結果が決まるという意味です。準備ができているのであれば、２割はその段取りに従って検査をすればよいと。失敗をしたのであれば、それは良い準備ができていなかったからである。予定外なことも想定して準備してあれば、どんなことにも対応することができると言われました。新人のころはあまりその意味が分からなかったのですが、自分も教える立場になって、その言葉の重要性に気づきました。

ここ数年は若手AG担当者の教育をする機会がなく、2023年の１月に新たに２名を心カテ担当に配属することになりました。このAG部会のお話をいただいた時期とかぶりました。

図５に若手教育の結果を示します。若手Aは20代唯一の頭腹部担当者で、当院の機械操作にはなれているのですが、心カテ検査にはなれていません。若手Bは中途採用者で他病院での心カテ経験があり、当院の機械操作には慣れておらず、検査の流れが分かるという状態です。２月までの状況は若手Aと若手Bともに１週間ずつ先輩技師に付いて検査を経験しました。結果として若手Aはまだ１人で検査できるかは不安であるが、フローチャートがあることはすごく良いと言ってもらいました。話を聞くと理解して業務をこなしており、先日はCTOのPCIも１人でやりきることができたと報告がありました。若手Bは先輩技師に付いて経験した検査は１人でこなせるようになり、あとは経験を積むのみだと報告がありました。現在３月末の状況では、若手Aは日勤帯の業務をこなし、若手Bは心カテ待機業務もこなしています。

今後の課題として若手Aと若手Bが独り立ちした後、改善すべきところを修正し、より良い教育を作成し今後に活かしていきたいと考えます。

若手ABはAG経験がありますが、今後はAG経験のない後輩が配属されると思います。現在の教育でどのくらいの期間で成長できるのかが焦点になってくると思います。

皆様が今日のAG部会を通じて、自施設の環境に沿った教育方法を確立していただければ幸いです。

学術論文

第56回アンギオ部会研修会

アンギオの新人研修

岡村記念病院　柏崎 大地

私は2022年３月まで県東部の公立病院に勤務していた。2022年４月より静岡県立総合病院で勤務開始。本日の内容は私が受けた新人研修について研修者の立場からの報告である。

当院の血管撮影は年間5000件程度あり、その半数を循環器内科が占めている。血管撮影室を６室（バイプレーン３室、ハイブリッド手術室２室、IVR-CT室１室）所有しているため、研修では全装置の取り扱いやクセの習得が必要。

当院の研修スケジュール（Fig.1）は、心カテ研修４週間＋IVR研修４週間、合計８週間で研修し、習熟期間として２ヶ月程度の通常業務に従事したのち、アンギオ班日当直デビューの運びとなる。

Fig.1　研修スケジュール

当院の日当直は、基本的に２名体制、内科当番日のみ３名体制で、アンギオ班は常に勤務している。また日常の勤務体制は、日勤業務は８時30分から17時15分であり、17時15分以降にオーダーが入る場合は当直者が対応する。しかし日勤中に予定の検査・治療が終わらないことが多々あり、その場合は17時15分から21時までを居残り勤務者が対応し、21時以降は当直者に引き継ぐ。

研修体制は研修者１名に対し、直接指導するメインの「指導者」とその指導者に対し助言、指導をする「アソシエーター」で構成されている（Fig.2）。

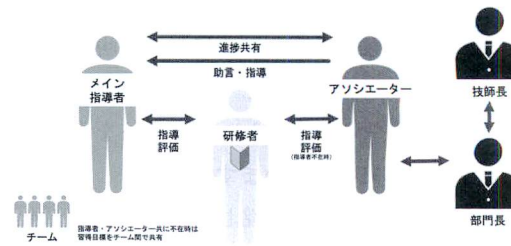


Fig.2　研修体制

具体的な研修スケジュールは、主に心カテではCAG・PCIに対応できるように研修を行う。

心カテ研修は４週間（Fig.3）で、

１週目：マンツーマンで指導者と研修者で清潔野に立つ

２週目：研修者が主体になり、指導者とともに清潔野に立つ

３週目：指導者は清潔にならず、不足の際に対応できるところで見守り

４週目：指導者は研修者から見えない操作室から見守り

という形式で研修が進む。

Fig.3　心カテ研修形式

心カテ研修の次はIVR研修へ移行する。しかしIVRは恒常的に検査が入らないため、オーダー発生時に、その都度緊急に対応できるように研修を進める。IVRのオーダーが無い際は積極的に心カテの経験を積む。

当院では心カテ清潔介助のため４週間の研修期間を設けている。当院の心カテのスタッフ体制はTable １のとおりであり、診療放射線技師は１人１部屋ずつ担当し、医師の横で清潔介助のため、操作室には誰もいない。

Table１　心カテスタッフの構成

医師	CAG	１名	手技全般
	PCI	２名	手技全般
看護師		１名	患者介助，記録，薬剤，物品出し
臨床検査技師		１名	ポリグラフ，イメージング機器等操作
臨床工学技士		１名	補助循環装置管理， ポリグラフ，イメージング機器等操作
診療放射線技師		１名	清潔介助，装置操作，画像提示， 被ばく管理，インジェクタ管理　　など

計５～６名

スタッフ教育は

１．放射線分野と異なる専門知識の習得

生体モニタ、バイタル

治療戦略、手技の流れの理解

→自己マニュアルを作成して理解を深める

２．フレーミングなどの技術習得

スムーズな台振りやフレーミングが求められる

→臨床の研修だけの習得は難しく時間外に自主練が必須

３．落ち着いて業務遂行するメンタル

医師の横で作業、緊急・急変時のプレッシャー、“慣れていない”“忘れた”が許されない環境下…

→場数、経験を積み体得

以上３点を重要視している。

私自身前施設でもアンギオ業務に従事していたが、転職を機に心カテで初めて清潔介助に入ることになった。研修においてはかなり強いストレスをかかえることになった。研修開始２週で心身不調となり、一旦IVR研修を行うこととなった。結果５週のIVR研修。その後心カテ研修に復帰。徐々に環境に慣れ、心カテ研修も５週と合計12週を要した。研修終了時「史上初、研修期間延長」とアンギオチーム員より告げられた。指導者－アソシエーターで協議し、延長が必要と判断されたためだ。もちろん限られた期間での習得が必須である。しかし、研修者のキャラクターや背景を考慮するなど、進捗によっては期間の延長が必要となることもある。指導側の成人教育に対する知識や指導方法を向上させていくことも重要である。

またアンギオ室専属技師は不在で、必ず他モダリティを兼任している。シフトによっては１ヶ月以上アンギオ業務に従事できないことも稀ではないが、週に１回は日当直が回ってくる。久しぶりにアンギオ業務についた際に運用やマニュアルが変更されている場合もあり、変更や気づきがあった際には速やかに院内メールにて情報共有を行っている。

アンギオという部門は他のモダリティと違い、目の前で患者が心停止・急変する部門である。最悪の状況下で、自分に何が出来るかを考えて行動をしなければならない。当院では医師の隣にいるので、前施設よりもそのことを特に気をつけて研修を行い、ひとり立ちした今も心がけている。

Work Life Balance 検討委員会 presents

第14回

連載企画

『突撃!! となりの放射線科』

育休パパ編

ワークライフバランス検討委員会
金原　明日香

皆さん、こんにちは。ワークライフバランス検討委員会の金原です。

今回のテーマは「育休パパ編」です。育休というと女性が取得するイメージが強いと思いますが、男女の「仕事と育児の両立」を支援するため、男性の育児休業制度があることをご存じでしょうか。

この育児休業制度には２種類あります。

1.「育児休業」：子が１歳に達するまで父母ともに取得することができる休業制度

2.「産後パパ育休（出生時育児休業）」：子の出生後８週間以内に最長４週間（２回に分割して取得可能）まで取得することができる休業制度

＊2022年に厚生労働省が発表したデータ　女性の育児休業取得率85.1％、男性の育児休業取得率13.97％

今回は、実際に育休を取得した男性放射線技師お二方をご紹介します。育休取得に至る背景とその過程・育休中の過ごし方・復帰後思うことなど盛りだくさんの内容となっております。また、育児休業制度について詳しく書いていただいた内容も掲載しますので、ぜひこの機会にご覧くださいませ。

＊＊＊

相談すると、状況を理解してくださり、なんとか育休を取得させていただくことができました。

臨月に近づくにつれ仕事の申し送りをする必要が出てきます。1ヶ月の取得でも迷惑をかけないよう、私が日頃行っている装置管理について必要事項を伝えました。

2021年のコロナ禍に次女が生まれました。私は出産に立ち会うことはできましたが、祖父母は病院に入ることができず、私も出産後2時間で病院から出ざるをえない状況でした。翌日以降も面会禁止で病棟に入ることはできず、入院中は娘の顔を見ることができませんでした。長女は、ママがいなくて寂しいと泣いてしまうこともありましたが、ママとテレビ電話で話をするなどして私と2人で過ごしました。

妻の退院日からついに育休に入ります。助産師から退院後1ヶ月は、妻にはなるべく入院生活（食事や授乳以外は寝て過ごす）と同じように過ごすようにと言われたことや、出産した女性の身体のダメージは、交通事故にあったようなもの。といった記事もあったため、退院後2週間はなるべくゴロゴロしてもらいました。朝起きてご飯を作り、洗濯物を干し、長女の支度をして保育園に送る。掃除、昼ご飯作り、洗濯物をたたむ、沐浴、晩ご飯作り、長女のお迎え。長女とお風呂に入り、ごはんを食べ、長女の仕上げ磨きをし、寝かしつけ。もちろん次女が泣いていれば授乳以外はあやし、おむつを変えます。夜泣きをすれば起きてあやし、寝かしつける日々が続きます。買い物も日中の落ち着いた時に行きます。自分の時間は、日中の次女が泣いていない家事の隙間時間と夜間の泣いていない時間ぐらいでした。ストレスも溜まり大変でしたが、次女の動く姿や笑っているような顔を毎日見ることができて幸せであり、かけがえのない時間でした。1ヶ月の育休はあっという間に終わりました。

就職してから1ヶ月の長期間休暇を取得した経験がなかったため、復帰後すぐに仕事に戻れるか多少の不安がありましたが、特段問題なく復帰することができました。変わったことといえば、長女の保育園のお迎えです。首のすわっていない新生児を連れていけないこと、首がすわっても保育園の荷物が多い日もあり大変なこと、長女が抱っこを希望することも多いこと、加えて、保育園のそばに駐車場がなく大変なため、私が迎えに行かないと妻が大変になるので残業がなかなかできません。特に私は、MRIや血管造影に就くことが多かったため、17時前に残業が出来る同僚に交代していただくケースが多くあり申し訳ない気持ちになります。しかし、某先輩技師に「今まで残業を変わってもらっていたことが多かったから大丈夫だよ」と優しい言葉をかけて貰い救われました。また、嫌な顔をせず二つ返事で業務を変わってくれた同僚の皆様が多く、仕事を終えてからも家事や育児をする余裕を持つことができました。

男性の育休の取得は国が進めている制度です。しかし、実際は職場の人数がある程度潤沢にいないと取得しづらい状況にあるかと思います。さらに男性は仕事、女性は家庭といった考えを持つ人もまだ少なからずいるかと思います。その中で育休を取得することは難しかったり、取得できても職場に迷惑をかけることになったりしますが、私は育休を取得してよかったと思っています。次女は今1歳半になるところですが、産まれたばかりの頃がすでに懐かしくなっています。か細かった泣き声も変わり、気づいたら走り回っています。産まれたばかりの抱っこがとても軽かった頃はも

う戻ってきません。今となっては長女の時も育休を取得すればよかったなとも思っております。

全く予定はありませんが、第３子を妊娠したらまた育休を取得したいとも思います（科長、その時はよろしくお願いします）。

これからの世代の方も育休取得を考えてみてはいかがでしょうか。

＊＊

育児休暇を経て考えたこと

聖隷三方原病院　佐藤　雷人

１．育児休暇を取得するきっかけ

妻は一人目の長男を出産後、産休・育休に入り、私は育休を取得せず出産前と変わらず日中は勤務する生活を送っていました。そのため、子供と一緒に過ごせる時間は、休日と平日は勤務後の子供が寝るまでの短い時間と限られていました。仕事の終わる時間によっては子供が起きている時には会えないこともありました。子供の出産と出産後の乳児期の育児は、結婚生活において、また自分の人生において、とても大きなイベントであり、その夫婦にとって大事なイベントであるこの時期の育児は今しか経験することができない大切な時間であると考えていました。その中で、子供と夫婦の三人でいる時間をもっと増やしたいと話すことが多くありました。しかし、私の周りに妻の育休期間と同時期に男性で育休を取得した人がおらず、自分で詳細に調べることもしていなかったため、妻と私二人同時に育休を取得することが可能であるかも分かっていませんでした。子供が生後数ヶ月を迎えた頃、偶然育休に関する記事を読み、条件を満たせば育休取得が可能であり、育児休業給付金も受け取ることができることを知りました。そこで、元々話をしていた三人の時間を増やすことができる良い機会であると思い、育休を取得することを決めました。

２．職場や家庭の反応

私は育休を取得することに決め、まず自職場の上司に相談をしました。育休を取得する上で、職場に迷惑がかかると申し訳ないため言いづらい気持ちもありました。しかし、上司は育休取得に対しとても肯定的な反応をして頂けたため、気持ちよく育休取得に向かうことができました。家族にも育休の取得に賛成して頂くことができ、育休期間の予定等も考えつつ申請から育休期間当日までの間も楽しく過ごすことができました。

３．育児休暇中の生活

私は育休を約三ヶ月取得しました。育休中の生活は、もちろん常に子供と一緒にいるため、休暇に入る前の生活と比べると子供と一緒にいる時間を大幅に増やすことができました。育休中の日々としては、三人で一緒に過ごすことが基本でしたが、お互いに一人で育児をする時間を設け、もう一人が自由に出かける時間を作り息抜きをすることもできました。育児に関して学ぶことも多くあり、子供の成長に合わせてやるべきことが増えたり減ったりと、乳児期の育児は学びの連続でした。子供に対する気持ちの向け方としても、育休前に

比べると、「次は何ができるようになるかな」と子供のことを考える時間が増えたため、子供の成長に対する喜びを大きく感じることができました。

4．復帰後、家庭に対して思うこと

現在、復帰後一ヶ月程経ちますが、一日育児をしている妻の大変さを、育休を通し、身をもって知ることができたため、仕事から帰ってからの育児は積極的に行うべきであると感じています。母乳をあげる事以外の育児は全て父親もできます。育休中よりは短い時間にはなりますが、休暇中に学んだ事を生かして夫婦で楽しい育児をしていきたいと思います。

5．育児休暇を終えて妻より

夫が育休を取得し、取得後には育児に積極的に関わろうとする姿勢が見られるようになりました。育休前から休日は子供の世話をすることもありましたが、育休中は子供のちょっとした変化に気付くことができたり、遊び方が上手になったと感じています。育休前も帰宅すると、「今日はどうだった？」と子供についての会話がありましたが、やはり子供の成長を聞いて知ることと、実際に見ることでは違うと思います。成長が著しい月齢に育休を取得できたことで、育児の大変さだけではなく子供を育てることの喜びも知ることができたのは有意義であったと思います。育休中に、初めて子供がハイハイした瞬間を夫婦で共有できた時はとても嬉しく感じました。夫婦で子供のことについてゆっくり話をしたり、ライフワークバランスについて考えたりする時間を取ることができたことで、夫の育休後も見通しを持って育児に臨むことができました。

病院の皆様には、快く育休を取得させて下さったことを心より感謝申し上げます。

6．今後育休を取得したいと思っている方へアドバイス

私が育休を取得して一番良かったと感じたのは、子供と一緒にいる時間を長く設けることができたことです。子供のことを考える時間が増え、子供の成長に対する不安や喜びをとても大きく感じることができました。これは、育休を取得していなければ私は感じることはできていなかったと思います。

人生には大きく分けると仕事の時間、プライベートの時間があります。両方を充実させることができれば、一番素敵な人生だと私は思います。何が充実していると感じるかは人それぞれではありますが、プライベートを充実させる一つの選択肢として育児休暇を知り、また大切な家族と一緒に育児について話してみてはいかがでしょうか。

＊＊

知っておこう！育休制度
～育休制度改正で、何が変わるの？～

聖隷福祉事業団法人本部総務部労務課
楠崎　智絵

昨今、日本では働き方改革や健康経営の推進が進められており、私たち医療・福祉業界においてもワークライフバランスの重要性が注目されています。

皆さんは2022年４月から段階的に育児・介護休業法が改正されていることをご存じでしょうか。育児休業はもともと法整備されているものではありますが、今回の改正では、出産・育児等による労働者の離職を防ぎ、希望に応じて男女共に仕事

と育児を両立できるようにするために施行されています。

今回は、育児休業制度の概要や、育児・介護休業法改正によって何が変わったのかをご説明します。

① 育児休業関連の制度の概要

1．原則として子どもが1歳になるまで付与される育児休業の取得
2．育児のための所定労働時間の短縮などの措置
3．残業などの所定外労働の制限
4．子どもの看護休暇（年5日）
5．原則として子どもが1歳になるまで付与される育児休業給付金の受給

② 育児・介護休業法の主な改正事項

先ほどの①に加え、2022年4月より3段階で育児・介護休業法が改正されました。

主な改正事項をご紹介します。

【2022年4月】

◆育児休業を取得しやすい雇用環境整備の義務化

皆さんが育児休業申し出や取得をスムーズに行うことができるように、事業主は環境の整備をすることが義務付けられました。（以下の1～4のいずれかを実施する必要あり。）

1．育児休業・産後パパ育休に関する研修の実施
2．育児休業・産後パパ育休に関する相談体制の整備等（相談窓口設置）
3．自社の労働者の育児休業・産後パパ育休取得事例の収集・提供
4．自社の労働者へ育児休業・産後パパ育休制度と育児休業取得促進に関する方針の周知

◆個別の周知・意向確認の措置の義務化

本人または配偶者の妊娠・出産等を申し出た職員に対して、事業主は育児休業制度等に関する事項の周知と休業の取得意向確認を個別に行う必要があります。

［周知事項］
1．育児休業・産後パパ育休に関する制度
2．育児休業・産後パパ育休の申し出先
3．育児休業給付に関すること
4．労働者が育児休業・産後パパ育休期間について負担すべき社会保険料の取り扱い

【2022年10月】

◆産後パパ育休（出生時育児休業）の新設、育児休業の分割取得

新たに創設された「産後パパ育休（出生時育児休業）」は、通常の育児休業とは別の制度で、男性版育休と言われています。産後パパ育休は、原則休業の2週間前までに申し出ることで、出生後8週間以内に4週間まで休暇を取得することができます。なお、初めにまとめて申し出れば期間内に分割して取得することも可能です。また、産後パパ育休取得後、通常の育児休業をさらに2回分割して取得することもできますので、今までよりも柔軟な対応が可能になります。

※通常の育児休職は、原則子が1歳まで（要件を満たす場合は最長2歳まで）取得可能。

【2023年4月】

◆育児休業取得状況の公表の義務化

従業員数1,000名超の企業は、育児休業等の取得の状況を年1回公表することが義務付けられます。

③ 職場の職員から育児休業について相談があったら…

育児休業等の制度は、一般的には法律に基づき各法人にて規則や制度が別途定められています。ご自身の事業所の制度がどのようになっているのか、まずは規則などを確認してみましょう。また、不明な点などはひとりで悩まず、まずは各事業所の総務担当者に聞いてみるとよいでしょう。

④　詳しく知りたい方はこちらを参考にしてください。

参考となるHPを紹介します。育休制度改正について、詳細を知りたければ下記URL、厚生労働省ホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130583.html

＊＊

萩原さん、佐藤さん、楠崎さん、どうもありがとうございました。

日本においては、育児は基本的に女性がやるものであり、男性は外で仕事をするといった固定観念やイメージが強く男性が育休を取得しにくい雰囲気が強い職場が多いのに加えて、男性が育休を取得することに対するハラスメントが発生することがあったそうです。

法律や制度の面から男性の育休を支援することができない場合、男性育休は普及しづらいことが背景となり、法改正され、男性育休の通知・取得促進の義務化が行われました。男性育休に対するイメージの変化や取得に対するハードルを下げることなどが期待されています。

働く場所によってはスムーズに育休が取得できないこともあるかもしれませんが、今後取得しやすい環境が整ってくるのではないかと思います。

この掲載が、積極的に子育てしたい方、育児・家事を夫婦で協力し合いたい方、取得したくても職場が人手不足で休めない方、育休を取得できる雰囲気ではない方など、良いきっかけになることを期待します。

育児休業の申請方法は事前に申告が必要なので確認しておいてくださいね。

メッセージボード

令和５年６月現在

東部地区

◎経過報告

2023.03.16(木)

第61回東部地区会通常総会

ハガキによる決議案承認を実施

会員数283名に対して議決権行使状の返信が209通。

議案１から４までのすべての議案に対して承認されました。

2023.5.18(木)

第１回幹事会(三島商工会議所)

①静岡県放射線技師会報告

②令和５年度事業計画

③東部地区連絡網について

④地区会だよりvol.1(案)について

⑤報酬・交通費について

⑥第１回胃がん検診X線撮影従事者講習会・放射線セミナーについて

◎行事予定

2023.6月中旬

東部地区会たよりvol.1　発行・発送予定

2023.8中旬

第２回幹事会(WEB会議予定)開催

「国際医療福祉大学熱海病院」配信

2023.9.9(土)

第１回胃がん検診X線撮影従事者講習会・放射線セミナー開催予定

「三島商工会議所」４階　大会議室

2022.10中旬

第３回幹事会　開催予定

※)コロナ禍の状況により開催方法は検討。

※)ふれあい広場等への参加は事務局で検討中。

中部地区

◎経過報告

2月後半～6月前半まで実地された行事

令和5年2月17日(金)中部地区会幹事会　WEB

・3/4の放射線セミナー、胃がん講習会、中部地区会総会直前の打ち合わせ

令和5年3月4日(土)

・令和4年度第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会及び放射線セミナー

「ピロリ陰性時代の胃がん検診のありかた」

焼津市立総合病院　消化器内科

渡邉　幸弘　先生

「静岡赤十字病院の胃検査数の現状について」

静岡赤十字病院　本村　奈穂　技師

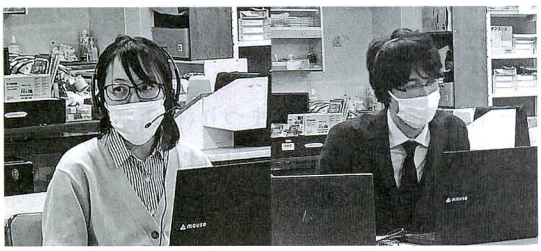
「Aquilion Serveの御紹介」

キヤノンメディカルシステムズ社

清水　真太郎　様

「Aquilion Serveの使用経験」

焼津市立総合病院　岩倉　圭佑　技師



・令和4年度中部地区会総会

総会は書面評決とし、結果を発表いたしました。

総会成立、全議案について承認されました。

COVID-19感染拡大防止のためZOOMを利用したWeb開催としました。

令和5年4月28日(金)中部地区会幹事会　WEB

年間計画について

各行事の役割分担について

令和5年6月16日(金)中部地区会幹事会　WEB

◎行事予定

8月から11月の予定

令和5年8月

・中部地区会幹事会

令和5年9月10日(日)

・静岡ふれあい広場(静岡市社会福祉協議会)

場　所：青葉シンボルロード

内　容：骨密度測定など予定

参加費：無料

今回の、静岡ふれあい広場は中部地区会幹事を中心に参加します。会員の皆様も是非ご家族等、お誘いあわせの上ご来場ください。

令和5年9月

・中部地区会幹事会

令和5年10月7日(土)

・令和5年度第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会及び放射線セミナー

詳細について決まりましたら、技師会HP上に掲載します。

西部地区

◎経過報告

○令和４年度 第２回西部地区会勉強会

日時：令和５年３月４日(土) 14：00～16：10

会場：アクトシティ浜松コングレスセンター
43・44会議室　Hybrid開催

参加者数　84名(会員　66名、非会員　18名)

内　容

・第２回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

講演『胃X線検査の豆知識』

講師

社会医療法人蘇西厚生会　松波総合病院

中央放射線室　副主任　若井　信悟　先生

・第２回　放射線セミナー

講演『造影剤のリスクマネジメント』

講師　群馬大学大学院医学研究科

放射線診断核医学教授　対馬　義人　先生

○令和４年度 第45回西部地区会総会

日時：令和５年３月４日(土)

場所：アクトシティ浜松コングレスセンター
43・44会議室

・2022年度西部地区会事業報告

・2022年静岡県放射線技師会事業報告

・2023年度西部地区会事業計画案について

・執行部提案について

(出席者　35名)

○令和５年度 第１回幹事会

日時：令和５年４月27日(木) 18：30～

場所：浜松医大杏林堂スマイルテラス２階セミナー室

・委員交代のお知らせ

・今年度の事業計画（案）　各委員会活動について

・庶務・会計からのお知らせ・お願い

・その他

(出席者　21名)

◎行事予定

○第25回全国Ｘ線撮影技術読影研究会
NTRT in 静岡(浜松市)

日時：令和５年７月１日(土) 11：50～17：00
令和５年７月２日(日) ９：30～12：30

場所：浜松医科大学　多目的ホール

○レクリエーション：ボウリング大会

日時：令和５年７月７日(金) 19：00～

場所：浜松毎日ボウル

○第１回西部地区会誌 「西部TIPS」７月末発行予定

○社会活動　可美公園まつり(健康ブース)

日時：令和５年10月22日(日)

会場：可美公園総合センター

○社会活動　メディメッセージ2023

日時：令和５年10月28日(土)・29日(日)

○レクリエーション：ウォーキングイベント

期間：令和５年10月～11月

○令和５年度　第１回西部地区会勉強会

日時：令和５年11月11日(土) 13：00～17：00

場所：アクトシティ浜松研修交流センター
62研修交流室(予定)

本　会　の　歩　み
（令和5年2月1日～令和5年 6月11日）

R５/２/９

第21回常任理事会（技師会事務所）

髙橋　牛場　小林　河井　中村　福地　野沢
斎藤　常葉　菅原

協議事項

・東海四県放射線技師学術大会について
・次年度事業計画案　予算案　特定費用準備金積立案
・総会　学術大会開催方法
・企画申請、報告書
・その他

R５/２/11

第63回東海四県診療放射線技師学術大会
参加者156名（会員148名　非会員７名　学生１名）

会員発表

「医療放射線の安全利用について」

・CT　　静岡県　総合病院聖隷浜松病院
高井　彩　会員
・核医学　　岐阜県　中部国際医療センター
山田　裕一　会員
・血管撮影　三重県　三重大学医学部付属病院
井上　勝博　会員
・安全利用の教育
愛知県　名古屋大学医学部付属病院
堤　貴紀　会員

座長：静岡県立総合病院　平井　健太　会員

ランチョンセミナー

「造影MRIの定量解析」

講師：バイエル薬品株式会社　ラジオロジー事業部シニアアプリケーションスペシャリストマネージャー
水内　宣夫　先生

座長：磐田市立総合病院
八重樫　拓　会員

教育講演

「肝臓の画像診断について」

講師：浜松医科大学放射線診断学講座教授
五島　聡　先生

座長：浜松医科大学医学部附属病院
神谷　正貴　会員

シンポジウム

CT　　岐阜県　大垣市民病院
山中　一輝　会員
MRI　　静岡県　磐田市立総合病院
松芳　圭吾　会員
超音波　三重県　三重県立総合医療センター
安本　浩二　会員
IVR　　愛知県　愛知医科大学病院
伊藤　ありさ　会員

座長：中東遠総合医療センター
春田　孝博　会員
富士市立中央病院　増田　裕司　会員

R５/２/18

第４回理事会（技師会事務所＋WEB）

髙橋　牛場　佐藤　小林　栗田　大倉　和田
山本　中村（真）　河井　福地　野沢　斎藤
常葉　大多和　中村（英）　神谷　寺田　廣澤

会長挨拶

報告事項

・会長報告
・副会長報告
・常任理事報告
・地区選出理事報告
・常設委員会理事報告
・監事報告

協議事項

・令和５年度事業計画（案）承認の件
・令和５年度収支計画（案）承認の件
・特定費用準備資金の積み立て（案）承認の件
・はがきによる書面採決の件
・その他

R５/２/18

第７回ワークライフバランス検討委員会研修会：WEB

参加者78名（会員63名　非会員15名）

・『診療放射線技師タスク室業務の実施状況に関する　アンケート』結果発表

ワークライフバランス検討委員会より報告

・告示研修の実技研修について

富士宮市立病院　嶋崎　龍洋　会員

・会員発表

各施設でのタスクシフト業務への取り組みについて

静岡県立総合病院　神戸　聖真　会員

共立蒲原総合病院　渡邉　知巳　会員

静岡市立静岡病院　増田　秀道　会員

R５/２/21

編集委員会初校

常葉　遠藤　堀　杉山　福地

R５/２/23

第22回常任理事会（WEB）

R５/２/25

第37回乳腺画像部会・第80回超音波部会合同研修会（WEB）

参加者 32名（会員31名　非会員１名）

・企業講演

「Dense　Breastへの追求症例検討およびディスカッション」

MMG：富士フイルムメディカル

超音波：GEヘルスケアジャパン

・「乳腺の画像診断」

富士宮市立病院　小倉　廣之　先生

R５/２/25

令和４年度第９回告示研修（実技研修）

静岡県立総合病院　先端医学２F　参加者　46名

R５/２/26

令和４年度第10回告示研修（実技研修）

静岡県立総合病院　先端医学２F　参加者　43名

R５/３/４

中部地区　第２回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会及び放射線セミナー

静岡県放射線技師会事務所：WEB

（参加者51名　会員45名　非会員６名）

①胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

教育講演

「ピロリ陰性時代の胃がん検診のありかた」

焼津市立総合病院　消化器内科

消化器内視鏡室長兼医療安全管理室長

渡邉　幸弘　先生

施設発表

「静岡赤十字病院の胃検査数の現状について」

静岡赤十字病院　本村　奈穂　会員

②放射線セミナー

「Aquilion Serveの御紹介」

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

清水　真太郎　様

「Aquilion Serveの使用経験」

焼津市立総合病院　岩倉　圭佑　会員

R５/３/４

第２回西部地区会勉強会・放射線セミナー・胃がん検診エックス線撮影従事者講習

Hybrid開催（アクトシティ浜松コングレスセンター）

参加者84名（会員66名　非会員18名）

①胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

講演『胃X線検査の豆知識』

講師　社会医療法人蘇西厚生会

松波総合病院中央放射線室　副主任

若井　信悟　先生

②放射線セミナー

講演『造影剤のリスクマネジメント』

講師　群馬大学大学院医学研究科

放射線診断核医学講座教授

対馬　義人　先生

R５/３/７

編集委員会二校

常葉　遠藤　堀　杉山　福地

R５／３／９

第23回常任理事会（技師会事務所）

髙橋　牛場　佐藤　小林　中村　河井　福地

野沢　斎藤　常葉　菅原

協議事項

・令和４年度事業報告（案）

・総会、学術大会の開催方法等について

・特定費用準備金積立案

・企画申請、報告書

・その他

R５／３／11

第16回静岡県MRI技術研究会

B-nest静岡市産学交流センターペガサート６F

プレゼンテーションルームよりHybrid開催

参加者　86名

（会員74名　非会員11名　賛助会員１名）

企業講演

・「Synapse　VINCENTに関する情報提供」

富士フイルムメディカル

会員発表

・「難しいです、MRIの定量のルーチン化～頭部領域でよく使う定量化の撮影について～」

藤枝市立総合病院　大川　剛史　会員

・「心臓MRIの定量検査について－導入から撮像・解析まで－」

静岡県立総合病院　井上　皓平　会員

教育講演

「マルチパラメトリックCMR：心疾患の診療にどう使う？」

三重大学大学院医学系研究科　放射線医学教室

准教授　石田　正樹　先生

R５／３／18

令和４年度静岡県放射線技師研修会

静岡県放射線技師会事務所よりWeb配信

参加者22名

「診療放射線技師のクリニカルラダー

～新人教育から定年までの人材育成のノウハウ～」

講師：聖隷健康診断センター　放射線課技師長

小林　秀行　会員

座長：静岡済生会総合病院　放射線技術科

中村　英明　会員

R５／３／23

第24回常任理事会（WEB）

R５／３／24

しずおかジャーナル Vol.32 No３（通巻216号）発行

R５／３／25

第56回 アンギオ部会研修会

静岡県放射線技師会事務所よりWEB

参加者16名

（会員:16名 非会員:０名 県外:０名 一般:０名）

１）メーカー講演

「最新のアンギオ技術」

シーメンスヘルスケア株式会社

２）会員発表

「アンギオの新人研修」

静岡県立総合病院　前林　晴也　会員

中東遠総合医療センター　武藤　宏　会員

岡村記念病院　柏崎　大地　会員

３）メーカー講演

「造影剤について」　GEヘルスケアファーマ

４）特別講演

「SHDに対するカテーテル治療」

浜松医科大学医学部附属病院　第三内科

特任講師　大谷　速人　先生

R５／４／13

第１回常任理事会（技師会事務所）

髙橋　牛場　佐藤　小林　中村　河井　福地

野沢　斎藤　常葉　菅原

協議事項

・令和４年度事業報告について

・総会・学術大会について

・企画申請書、報告書

・その他

R５/４/22

第１回理事会(技師会事務所＋WEB)

髙橋　牛場　佐藤　小林　中村(真)　河井

福地　野沢　斎藤　常葉　菅原　大倉　和田

山本　大多和　中村(英)　神谷　寺田　廣澤

報告事項

・会長報告

・副会長報告

・常任理事報告

・地区選出理事報告

・監事報告

協議事項

・令和４年度事業報告及び附属明細書報告について

・令和４年度監査報告

・第１号議案　令和４年度計算書類一式について

・総会、学術大会運営

・表彰者一覧

・その他

R５/４/27

第２回常任理事会(WEB)

R５/４/28

定時総会・学術大会資料・総会はがき

発送作業(技師会事務所)

R５/５/11

第３回常任理事会(技師会事務所)

髙橋　牛場　佐藤　小林　中村　河井　福地

野沢　斎藤　常葉　菅原

協議事項

・総会、学術大会最終確認

・採決はがき確認状況

・企画申請、報告書

・その他

R５/５/25

第４回常任理事会(WEB)

R５/５/28

第12回(公社)静岡県放射線技師会定時総会

第27回(公社)静岡県放射線技師会学術大会

(あざれあ６階大ホール＋WEB)

髙橋　牛場　佐藤　小林　中村(真)　河井

福地　野沢　斎藤　常葉　菅原　寺田

中村(英)　神谷　和田　山本　栗田　三井

白鳥　坪内　筒井　廣澤　服部　佐々木

第12回(公社)静岡県放射線技師会定時総会

参加者 38名

資格審査　会員 1014名/有効評決数 697名

第１号議案　反対２　賛成688　保留７

第27回(公社)静岡県放射線技師会学術大会

参加者　176名

(会場 119名　WEB 57名)

・会員研究発表

セッションⅠ：X線撮影　３題

セッションⅡ：MRI　５題

・ランチョンセミナー

『医療DX時代における読影支援ソリューション』

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

営業本部　EIS営業部　梅田祐司　先生

『革新的高速イメージング："SmartSpeed AI"による高速化と高画質化の両立』

株式会社フィリップス・ジャパン

MRクリニカルサイエンス　上田　優　先生

・公開講演

『診療放射線技師を目指そう－大学教員からのメッセージ』

名古屋大学　医学部保健学科　放射線技術科学専攻

准教授　小山　修司　先生

セッションⅢ：放射線管理・情報管理　４題

セッションⅣ：放射線治療・核医学　３題

セッションⅤ：X線CT　５題

R５/６/８

第５回常任理事会(技師会事務所)

髙橋　牛場　佐藤　小林　中村　河井　福地

野沢　斎藤　常葉　菅原

協議事項

・総会の振り返り

・今後の事業について

・企画申請書、報告書

・その他

会員動静（敬称略）
（令和5年2月1日～令和5年5月31日）

【入　会】19名

東部：鈴木　　奏　　聖隷沼津病院
　　荒井　春香　　聖隷沼津病院
　　髙橋　理久　　聖隷沼津病院
　　渡邊　裕文　　静岡医療センター
　　渡部望乃果　　西島病院
　　深澤　徳光　　下田メディカルセンター
中部：山本　一貴　　静岡県立総合病院
　　福田　翔吾　　静岡県立総合病院
西部：宮本　恭成　　中東遠総合医療センター
　　柴田　拓海　　聖隷浜松病院
　　酒井　彩華　　聖隷浜松病院
　　杉山ちなみ　　聖隷三方原病院
　　豊田　真咲　　聖隷予防検診センター
　　坂田　　恵　　浜松医科大学医学部付属病院
　　大庭香奈子　　浜松医科大学医学部付属病院
　　大石　直樹　　浜松医科大学医学部付属病院
　　吉本　　哲　　浜松PET検診センター
　　荒木　香吏　　浜松労災病院
　　郷原　昴也　　聖隷浜松病院

【再入会】7名

東部：松井　隆之　　聖隷富士病院
中部：滝井　　剛　　静岡市立清水病院
　　鈴木康一郎　　藤枝市立総合病院
　　松岡　靖彦　　藤枝市立総合病院
　　滝口幸次郎　　静岡県立総合病院
西部：田口　宮子　　聖隷健康診断センター
　　坂本　英一　　医療法人好生会三方原病院

【転　出】4名

東部：古橋　都槻　　三重県
中部：川口　千尋　　千葉県
西部：茂木　美雪　　東京都
　　藤井　真味　　神奈川

【転　入】3名

西部：白木　一史　　浜松医科大学医学部付属病院
　　←　福岡県
　　白木　彩華　　自宅
　　←　福岡県
　　清水　智恵　　すずかけセントラル病院
　　←　神奈川県

【勤務先移動】25名

東部：深澤　英史　　医療法人社団Pulmoシモタクリニック
　　←　富士宮市立病院
　　津牧　克己　　静岡医療センター
　　←　静岡てんかん・神経医療センター
　　利　　旭央　　富士宮中央クリニック
　　←　富士宮市立病院
　　小川侑希也　　自宅
　　←　ふじの町クリニック・健診センター
　　井出　敦之　　田辺整形外科医院
　　←　富士市立病院
中部：和田　夏季　　自宅
　　←　焼津市立総合病院
　　秋山　敏一　　医療法人社団聖綾会聖綾リハビリテーション病院
　　←　自宅
　　竹下あかね　　共立蒲原総合病院
　　←　静岡市立静岡病院
　　加藤　久佳　　自宅
　　←　焼津市立総合病院
西部：山村　楠明　　HMT画像診断クリニック
　　←　JA静岡厚生連　遠州病院
　　高橋　　優　　ハートセンター磐田
　　←　行駒脳神経クリニック
　　大坪　健一　　自宅
　　←　磐田市立総合病院

澤村　　眸　　自宅
　　←　聖隷予防検診センター
伊藤　和彦　　浜松市リハビリテーション病院
　　←　聖隷健康診断センター
杉浦　康行　　聖隷予防検診センター
　　←　聖隷健康診断センター
松永　麻美　　自宅
　　←　共立蒲原総合病院
渥美　紗来　　自宅
　　←　浜松労災病院
山本　裕之　　浜松労災病院
　　←　静岡厚生連遠州病院
小泉　敬太　　わたひき消化器内科クリニック
　　←　やなせ内科呼吸器科クリニック
小林　靖典　　聖隷予防検診センター
　　←　聖隷浜松病院
望月　卓馬　　自宅
　　←　聖隷浜松病院
神谷　圭亮　　国府台整形外科
　　←　聖隷浜松病院
小松　悠太　　聖隷浜松病院
　　←　聖隷健康サポートセンターShizuoka
江口　幸民　　医療法人好生会三方原病院
　　←　自宅
天野　聡栄　　磐田市立総合病院
　　←　聖隷予防検診センター

【退　会】17名

東部：伊藤　　等　　田中　理恵
　　武川　彰宏　　荒田百合南
　　遠藤　佳秀
中部：後藤　憲幸　　庄　　賢治
　　竹内　貴子　　清水有香里
　　吉村　浩一　　児玉　吉彦
　　鈴木　貞子
西部：藤森　愛美　　武藏島　勲
　　鈴木　幸広　　土屋　佑允
　　倉沢恵莉子

【姓変更】０名

会員総数　１０３０名
　東部　　２９０名
　中部　　３００名
　西部　　４３５名
　県外　　５名
（令和５年５月31日現在）

【電　報】２件
　菅原　和仁　　弔電
　庄　也寸誌　　弔電

本会への寄贈図書
（令和５年２月１日～令和５年５月31日）

2／1　かながわ放射線だより
　Vol.75　No.5　Jan2023　302
2／2　埼玉放射線　2023　No.1
　埼玉県診療放射線技師会
2／3　福島放技ニュース　2023　１月27日号
2／3　東京放射線　2023年２月号　Vol.70
　No.813
2／7　京放技ニュース（京都府放射線技師会）
　２/2023　通算753号
2/13　放射線　やまぐち　2023　Vol.294
2/13　大分放射線　第130号　January　2023
2/17　会誌　No.42　2023.2　岡山県診療放射線
　技師会　創立70周年記念特集
2/21　放射野　2023　No.136
　長崎県診療放射線技師会
3／6　兵庫県放射線技師会　会誌　*2023.3.1*
　Vol.82-３
3／7　京放技ニュース（京都府放射線技師会）
　３/2023　通算754号
3/13　岐阜県診療放射線技師会　第99巻
　通号135号

3 /13　MART会報99宮城県放射線技師会
2023.3.Vol.133
3 /16　IART岩手県診療放射線技師会　No.49
2023.3月
3 /27　福岡県診療放射線技師会会誌第352号
2023.3.15
3 /30　かながわ放射線だより　Vol.75　No.6
mar.2023 303
3 /30　滋賀県診療放射線技師会会誌　あふみ
No.65　2023
4 / 5　大放技会報　No.349
大阪府診療放射線技師会
4 / 5　東京放射線　20234月号　Vol.70　No.815
4 /10　京放技ニュース（京都府放射線技師会）
4 /2023　　通算755号
4 /18　富山県診療放射線技師会　会報Vol.102
2023
4 /24　奈良県診療放射線技師会　創立70周年記念誌－たゆまぬ進化、さらなる真価－
5 / 1　愛知県診療放射線技師会　会誌　Vol.35
No.1　Apr.2023
5 / 8　京放技ニュース（京都府放射線技師会）
3 /2023　　通算756号
5 / 8　東京放射線　2023年３月号　Vol.70
No.816
5 / 8　鹿苑　奈良県放射線技師会　季刊会誌
第107号　2023.4月
5 / 8　新潟県診療放射線技師会会報　第98号
2023.4.25
5 / 8　福島県診療放射線技師会　2023　No.59
5 / 8　放射線島根　No.101　Vol.59-１　2023.3
島根県診療放射線技師会雑誌
5 / 8　北海道放射線技師会　会報　2023年５月
5 / 8　放射線やまぐち　2023　Vol.295
山口県診療放射線技師会
5 /11　かながわ放射線だより　Vol.76　No.1
May.2023 304
5 /16　大分放射線　第131号　April　2023
5 /17　栃木県診療放射線技師会
情報誌「あすたーと」2023　May Vol.52
5 /22　福井県診療放射線技師会
会報「すいせん」 2023.05.15　161号
5 /26　放射野　2023　No.137
長崎県診療放射線技師会

令和5年度
第1回 理事会 議事録

1．開催日時　令和5年4月22日(土)
14：00～17：00

2．場　所　技師会事務所＋WEB会議

3．出 席 者（敬称略）

髙橋　真・牛場　克明・佐藤　正明
小林　秀行・中村　真也・河井　淑裕
福地　大介・野沢　滋幸・菅原　和仁
齋藤　忍・常葉　勇介・大多和純一
中村　英明・神谷　正貴・廣澤　賢一
寺田　理希・栗田　仁一・大倉　善郎
山本　英雄（顧問）・和田　健（顧問）

欠席者
なし

1．会長挨拶

髙橋会長

2023年第1回理事会をはじめます。

定款第6章の第34条に従いまして、私が議長を務めさせていただきます。

議事録につきましては、総務庶務の河井理事にお願いをいたします。発言者以外はマイクをオフにしてください。

2．報告事項

Ⅰ．会長報告

JART報告

・学術業務委託契約の締結について（別紙）
・告示研修医師派遣中止に関するお知らせ（別紙）：4/10に要綱が配布（別紙）
・令和5年度日本学術振興会育志賞候補者推薦について（別紙）
・第86回定時総会の開催について：令和5年6月10日（土）10時00分～12時00分

中日本報告

・第39回日本診療放射線技師学術大会（9/29～10/1）における一般演題の潜在座長候補の推薦依頼（別紙）：JARTからの経費捻出なし

会長報告

・2/24　自民党静岡県連支部　団体協議会参加（髙橋、牛場）
・3/2　医療事故調査等支援団体連絡協議会・研修会　WEB参加（髙橋）
・3/11　第1回表彰委員会開催
・4/2　静岡社会健康医学大学院大学入学式出席
・東海四県学術大会収支報告　監事承認
・6/23　静岡県看護協会総会（10時～16時）への出席依頼
・告示研修の実績と予定（年10回開催予定）
　1回、2回　6/4，5　富士宮市立病院　開催申請漏れのため中止、
　7/22，23　藤枝市立総合病院
・第25回NTRT（全国X線撮影技術読影研究会）静岡大会開催についての後援承認いたしました。

Ⅱ．副会長報告

東部（委員会報告）

東部　牛場副会長

・静岡県地域防災計画　原子力災害対策編について、静岡県原子力安全対策課より地域防災計画が見直され確認・修正の依頼が届いた。災害委員で確認して返信する。
・2/4原子力防災訓練へ参加した際の参加報告を次回ジャーナルに掲載予定。
・災害委員より今年度の原子力緊急時災害対策研修会について、静岡市立病院で実施予定。座学と実習を行う。
・4/26技師会事務所にて中部電力と災害対策委員長牛場、管理士部会千葉とで研修会の打ち合わせ

・3/10　3会合同会議開催

中部（会務報告）

中部　佐藤副会長

報告事項なし。

西部（部会報告）

西部　小林副会長

部会報告（2月～3月）

超音波部会

・第37回乳画像部会研修会・第80回超音波部会合同研修会

日　時：2023年2月25日(土)　14：00～15：50

場　所：WEB

方　法：WEB配信

参加者：32名（会員31名、非会員1名）

アンギオ部会

・第56回静岡県放射線技師会アンギオ部会研修会

日　時：2023年3月25日(土)　14：00～16：30

場　所：静岡県放射線技師会事務所

方　法：WEB配信

参加者：13名（会員13名）

乳腺画像部会

・第37回乳画像部会研修会・第80回超音波部会合同研修会

日　時：2023年2月25日(土)　14：00～

場　所：WEB

方　法：WEB配信

参加者：32名（会員31名、非会員1名）

管理士部会

・第50回放射線技師のためのセミナー開催に向けたアンケートの実施

診療放射線技師養成校の臨床実習について41施設へ紙面による配信。

令和4年度部会活動総括について

・令和4年度第1回常任理事会において活動について報告。

今後の活動費における運用について検討を行い、部会長会議を今後開催予定。令和5年度の活動方法について周知を行う予定。

Ⅲ．常任理事報告

総務　中村理事

県のみ会員の会費未納者に対し再請求、来年度の会費請求書を送付。

メーカ各社に今年度の賛助会員調査表とジャーナル広告掲載についての依頼書を郵送。今年度賛助会員22社、ジャーナル広告掲載のみ13社と確定。後日請求書を作成し郵送する。

5/28開催の学術大会の公開講演ポスターを県内高校への掲示依頼書を作成し配布。

総務庶務　河井理事

・公文書発番管理実績

令和4年2月18日（前回理事会）～令和5年4月21日（直近）まで

R05-01：後援申請 第25回 NTRT 全国X線撮影技術読影研究会 2023/4/13付で発番

・事務所PC整備作業

左手PCの移行に必要な各種設定を完了し、今週より事務員の作業を右手のPCに完全移行した。旧右手PCの廃棄について、「リネットジャパン」で検討中（静岡市をはじめとした各自治体とも提携）。費用は下記。

回収費用：無料（理事会開催日現在、今後変更の可能性あり）

データ消去費用：￥3,500

消去証明書発行費用：￥550

庶務一般　福地理事

報告事項

・静岡県から委託されていた令和4年度胃がん検

診エックス線撮影従事者講習会事業は、収支決算書・実績報告書等を提出し契約を終了。
・備品台帳を新たに作成。

協議事項
会員動静
(令和５年２月１日から令和５年３月31日まで)
新入会申請　２名
　宮本　恭成（西部）
　杉山　ちなみ（西部）
転入申請　１名
　清水　智恵（西部）
転出　０名
　以上、新入会２名、転入１名について定款第３章第６条に基づき本理事会での採決をお願いします。

髙橋会長
　採択を取ります。
反対：０・保留：０・賛成：20
（全会一致承認）

庶務会員管理　野沢理事
　会員数と今年度の会費納入状況を報告致します。会員数は、2023年３月31日時点で1014名、会費納入率は97.0％（２月納入分まで）です。

会計　斎藤理事
　小林副会長から報告の今後の部会活動費に関しては決まり次第連絡をお願いします。

常葉　編集理事
・経過報告
　3/24(金) ジャーナル Vol.32 No.3 2023（通巻216号）1115部発行完了
総会資料について
　総会ハガキは４/21(金) に1035部、納品予定です。議案集は本日第１回理事会の監事報告の原稿をもってすべて集まります。もし、修正や変更等がありましたら、本日中にご連絡ください。来週４/25（火）より印刷・製本作業に入ります。
・総会資料の発送作業を４/28(金) に行う予定です。５月の１～２週目に各会員の手元に届きますので、５/19(金) までにハガキの投函をお願いいたします。今回も前回同様ハガキによる書面表決になります。
　各職場で早めの投函をお伝えいただきますようお願い申し上げます。

・ジャーナル Vol.33 No.1 2023（通巻215号）の発送に向けた今後の予定
　６/20（火）原稿締め切り
　６/27（火）編集委員会（初校）
　７/11（火）編集委員会（２校）
　７/28（金）発行（発送作業）※学術大会 抄録集も併せて発行します。
　ジャーナル Vol.33 No.1 2023（通巻217号）の目次予定は別紙参照
・原務寄稿を随時お願いしていきますので、期日までに原稿の作成をよろしくお願いします。
・会告は８月から11月までに開催されるものについて掲載が必要です。

広報　菅原理事
【広報】
新春公開講演に関した活動
・２/24　新春公開講演　後援報告書の資料提出、（事務局宛てに）静岡新聞社・県庁への提出
第27回　静岡県放射線技師学術大会　関連
・３/20　公開講演会「静岡放送・静岡新聞社」後援申請書類提出
・４/５　学術大会　会場「あざれあ」下見
・４/５　会場音響接続用　オーディオケーブル２×RCAオス-2×6.36mmオス（５m）購入1,599円
・４/７　公開講演会「静岡県」後援申請書類提

出（静岡県要望により４月以降に提出）
・４/７　「静岡放送・静岡新聞社」後援承認
・４/17　「静岡県」後援承認

【情報管理委員会】
・２/18　ワークライフバランス検討委員会　zoom使用サポート
・２/24　ワークライフバランス検討委員会　zoom参加者レポート提出
・２/24　第37回乳腺画像部会・第80回超音波部会　合同研修会　入金確認後メール送信トラブル対応
・２/25　第37回乳腺画像部会・第80回超音波部会　合同研修会　zoom使用サポート
・２/27　第37回乳腺画像部会・第80回超音波部会　合同研修会　zoom参加者レポート提出
・３/４　中部地区第２回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会　zoom使用サポート
・３/６　中部地区第２回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会　zoom参加者レポート提出
・３/８　セミナー会費徴収システム運用規定（案）作成
・３/11　事務所にて事務所PC　環境調査
・３/11　MRI部会研修会　参加者登録報告
・３/13　MRI部会研修会　入金報告
・３/14　MRI部会研修会　入金報告訂正（アシストデザイン手数料値引き）
・３/15　セミナー会費徴収システム運用改定についての提案書提出
・３/20　zoom利用者様への使用調査とzoom契約改定案・伺い提出
・４/５　ZoomWebinar 500 Monthly　契約　５～７日まで1,139円
今後経費　月Unit Price:11,770円（２か月継続します）

セミナー申込掲載
・２/20　第56回アンギオ部会研修会　申込掲載

求職求人掲載
・２/24　磐田在宅医療クリニック　求人情報掲載
・４/19　焼津市立総合病院　求人情報掲載

Ⅳ．地区選出理事報告

東部　大多和組織理事

活動報告
２/15　東部地区会会計監査を執り行い承認
２/16　東部地区会たよりvol.4発行
東部地区会通常総会 議事決議用ハガキ　発行・発送実施
３/16　第61回 東部地区会通常総会をハガキによる議事決議を実施。
会員数283名に対して議決権行使状の返信が209通。
議案１から４までのすべての議案に対して承認。

今後予定
５月中旬　第１回 東部地区幹事会開催
６月上旬　東部地区会たよりvol.1発行
８月中旬　第２回 東部地区幹事会開催
９月上旬　第１回 放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従者講習会開催

中部　中村組織理事

中部地区会活動報告
３/２：議案書　書面表決書集計（３/４報告用）
議案１　令和４年度事業報告・会計決算報告・会計監査報告
議案２　令和５年度事業計画案･予算計画(案)
議案３　令和５年度会費免除の件
中部地区会員325名中、228名の書面表決での承認が得られ議事承認。
３/４：令和４年度第２回胃がん講習会、放射線セミナー【参加者51名　技師会会員45人（県内42名　県外３名）非会員６人】

中部地区会総会書面表決報告会

1．第２回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

「ピロリ陰性時代の胃がん検診のありかた」

焼津市立総合病院　消化器内科

消化器内視鏡室長兼医療安全管理室長

渡邉　幸弘　先生

「静岡赤十字病院の胃検査数の現状について」

静岡赤十字病院　本村　奈穂　技師

2．第２回放射線セミナー

「Aquilion Serveの御紹介」

キヤノンメディカルシステムズ社

清水　真太郎　様

「Aquilion Serveの使用経験」

焼津市立総合病院　岩倉　圭佑　技師

3．中部地区会総会書面表決報告会３/２に行った議案書、書面表決の集計結果を報告。

今後の予定

４/28(金)：令和５年度第１回中部地区会幹事会

令和５年度の年間予定、第１回胃がんセミナーの内容などについて話し合い。

７月中：地区会ニュース夏号発行

以降はついては別紙を参照。

西部　神谷組織理事

令和４年度活動報告

第２回勉強会・第２回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会、第２回放射線セミナー

日　時　令和５年３月４日(土)　14:00～16:10

会　場　アクトシティ浜松コングレスセンター43・44会議室

Hybrid開催（現地開催＋WEB（ZOOM）によるライブ配信）

参加者数　84名（会員66名、非会員18名）

内　容

○第２回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

講演『胃X線検査の豆知識』

講師　社会医療法人蘇西厚生会　松波総合病院中央放射線室

副主任　若井　信悟　先生

○第２回　放射線セミナー

講演『造影剤のリスクマネジメント』

講師　群馬大学大学院医学研究科

放射線診断核医学

教授　対馬　義人　先生

西部地区会総会

2022年度第45回総会　令和５年３月４日(土)

アクトシティ浜松コングレスセンター43・44会議室

○2022年度西部地区会事業報告

○2022年静岡県放射線技師会事業報告

○2023年度西部地区会事業計画案について

○執行部提案について

参加者数　会場参加者35名・委任状311名）

令和５年度活動予定

４月　第１回幹事会

７月　第２回幹事会、ボウリング大会、西部TIPS発刊

９月　ウォーキングイベント

10/22　社会活動　可美公園まつり（健康ブース）

10/28・29　社会活動　メディメッセージ2023

JSRT秋季大会と日程重複のため、サポートの依頼をする可能性あり。

11/11　第１回放射線セミナー＆西部地区会勉強会＆胃がん検診エックス線撮影従事者講習会、第３回幹事会、西部TIPS発刊

12月　第４回幹事会

Ｒ６年２月　第５回幹事会（総会について）

３月　第２回地区会勉強会or放射線セミナー、胃がん検診エックス線撮影従事者講習会、第46回定期総会、第５回幹事会、西部TIPS発刊

７/１・２　第25回NTRT（全国X線撮影技術読影研究会）静岡大会：西部地区役員にて実施

Ⅴ．常設委員会理事報告

寺田学術理事

昨年度はメール会議主体であった。今年度は対面でも行いたい。

廣澤企画調査理事

3/18　企画調査委員会　放射線技師研修会（web）実施　参加22名

Ⅵ．監事報告

栗田　監事

報告なし。

大倉　監事

報告なし。

Ⅶ．顧問・事務報告

山本　顧問

JART総会が開催されますので代議員の方は参加をお願いします。

和田　顧問

報告なし。

事務員

報告なし。

3．協議事項

Ⅰ．令和４年度事業報告及び付属明細書報告について

事業報告案については別紙の如くとなります。確認いただき修正あれば申し出をお願いします。異論なければ採決に入ります。

髙橋会長

採択を取ります。

反対：０・保留：０・賛成：20

（全会一致承認）

Ⅱ．令和４年度監査報告について

栗田　監事・大倉　監事

令和４年度 監査報告

私ども監事は、令和４年４月１日から令和５年３月31日までの年度における会長提出の事業報告書、及び経理規程第44条第１項の会計理事提出の財務諸表を、公益社団法人静岡県放射線技師会定款第44条第１項に基づき令和５年４月22日に監査を実施しました。その結果、適正に処理されていることを確認しましたのでご報告いたします。

１、監査実施年月日：令和５年４月22日（土）

２、監査実施場所：公益社団法人 静岡県放射線技師会事務所

３、監査立会人：会長 髙橋　真、副会長 佐藤正明、会計常任理事 齋藤　忍、事務員 清水陽代

４、監査書類：令和４年度に係わる一切の書類、事業報告書、収支決算書、財産目録、正味財産増減計算書、貸借対照表、出納帳、領収書、貯金通帳

５、監査意見

（１）　貸借対照表及び正味財産増減計算書は、定款に従い会の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。

（２）　事業については、厳しい財政での事業であり会員一人一人の一層の努力で身のある事業になることを望みます。

（３）　役員の職務遂行に関する不正の行為または定款に違反する事業は認められません。

（４）　会費納入については、事業を円滑に遂行するため年度当初の納入を切に望みます。また、遅くとも会費納入期限９月30日の完納を望みます。

（５）　事業費に占める公益事業比率は72.3％でした。今後も公益比率の維持を望みます。

令和５年４月22日　監事　栗田　仁一、大倉　善郎

髙橋会長

採択を取ります。

反対：0・保留：0・賛成：20

（全会一致承認）

髙橋会長

公益事業比率が良好に保たれているのは会員みなさんのおかげです。今後も引き続きよろしくお願いいたします。

Ⅲ．第１号議案　令和４年度計算書類一式ついて

会計　斎藤理事

それぞれ添付資料をご確認ください。

【貸借対照表】

・当年度の現金預金は、5,883,972円。

・80周年記念事業積立金800,000円

・事務所営繕取得準備資金は、324,563円増加し7,433,126円。

・その他固定資産は、建物の減価償却により193,276円減少、資産準備資金よりPC、プロジェクターを購入し、什器備品費用457,256円。

・当年度資産合計31,892,689円。

【正味財産増減計算書】

1．経常収益

・受取会費の正会員受取会費は増加、賛助会員受取会費が減少。会費増加。297,000円

・受取負担金は部会の負担金、東海四県負担金が増加。745,700円

2．経常費用

・事業費-会議費は各部会、委員会等が再開されたため会議費が増加。151,314円

・事業費-通信運搬費増加、270,844円。管理費-通信運搬費増加、195,549円

令和３年度のホームページ更新費用を令和４年度で負担したため増加。

・事業費－消耗品費は表彰記念品、10周年記念品購入費が増加、243,893円

・事業費－賃借料は10周年記念式典の会場費と講習会会場費に含めたため増加。1,176,170円

・事業費－諸謝金は10周年記念式典の謝金と講習会謝金が増加。177,040円

・事業費－支払負担金は部会費運用の変更に伴い各部会、東海四県への支払で増加。381,673円

・管理費－委託費は役員変更に伴う登記費用、届出費用が増加。111,604円

3．当期経常増減額

経常収益－経常費用

＝11,772,235－12,307,073

＝△534,838

【正味財産増減計算書内訳表】

・公益目的事業会計の経常収益計は　6,922,835円。経常費用計は8,095,842円

公益目的事業会計の経常増減額は△1,173,007円。

・公益目的事業比率は、総費用（経常費用計の総合計）12,307,073円、公益目的事業会計の経常費用計8,095,842円、80周年記念事業積立金800,000円から72.3％で50％以上。

（8095842＋800000）÷12307073

＝0.723　→　72.3％

【財務諸表に関する注記】

会計方針、基本財産及び特定資産、固定資産、補助金等の内訳を記載。

【財産目録】

貸借対照表の資産詳細。

【付属明細書】

特定資産の明細

・80周年記念事業積立金800,000円は令和９年度に周年事業費として使用予定。

【収支計算書】

予算額と決算額の比較。

新型コロナ禍でも事業が再開されたこともあり、事業活動収入は△600,735円、事業活動支出は△175,603円の差異。

【収支計算書に関する注記】

次期繰越収支差額は5,125,355円。

当年度はコロナ禍においても多くの事業は再開され、活発に事業を行ったため、公益目的事業会計の経常収益計は6,922,835円、経常費用計は8,095,842円と昨年に比べ収益、費用共に増加しており、公益事業比率50％以上、収支相償は確保されています。

今後も継続して事業を実施していきたいと思います。

髙橋会長

受取負担金はセミナー会費を徴収していることと、マンモグラフィー講習会によるものです。賃借料は東海４県学術大会と10周年記念事業によるものです。これらの点を注視していただければ例年と大きな差がないことがわかるかと思います。会員増により収入は増えています。次期繰越収支差額は512万円ほどありますが、会計事務所からは500万円は切らないほうがよいと助言をいただいております。しかしながら72％超の公益事業比率は素晴らしとお褒めの言葉をいただいております。

寺田理事

コロナ前と比較するといかがでしょうか。個々に見ていくとおおよそ15－20万円程度ずつ増加しているように見えるが。

髙橋会長

活発に活動が行われたことによる会議費の増加などによるものと考えています。３年前は予算が300万円台であった。それが600万円前後に増えたが今回は500万円程度となっている。事業が行われたことによる出費と思われる。

寺田理事

コロナ前後で大きく状況が変わっているので数年前の状況と比較していくことが大切かと思う。

髙橋会長

会議に関してはwebを積極的に活用していただきたい。交通費は減らしたいが対面でのやり取りも大事なので、両者のバランスをとりながらの取り組みをお願いしたい。

和田　顧問

特定資産明細にある80周年事業は令和９年度ではなく10年度の誤りかと。

髙橋会長

修正します。

髙橋会長

採択を取ります。

反対：０・保留：０・賛成：20

（全会一致承認）

髙橋会長

それではこちらを総会に提出します。

Ⅳ．総会・学術大会運営

中村組織理事

配布資料をご確認ください。５/13にリハーサルを行います。ランチョンセミナー開始時間が12：10に変更になっています。また先日の常任理事会でも報告させていただきましたが、学術大会会場である６F大ホールが飲食禁止となっている関係で、昼食を５Fに移動してとっていただく形となります。案内・誘導等を役員の皆さんで協力していただき対応をお願いします。

11－14時くらいで参加者各自の都合で昼食を

とっていただきますが、ランチョンセミナー・公開講演の間はできるだけ会場で着席して参加いただけるようアナウンスします。

前日夕方から機材等を搬入、総会用のセッティングを完了し、当日は８：30から入場可能です。総会の開始は９：30からとなります。

全プログラム終了は16：20を予定、完全撤退は17：00となりますのでよろしくお願いします。定時総会進行表、議長団進行表、実行委員配置図・組織図もそれぞれご確認ください。

山本　顧問

総会運営会議に神谷西部組織理事がぬけている。

中村組織理事

資格審査として神谷理事を入れさせていただきます。

髙橋会長

会場もしくははがきからの質疑を受ける時間が必要ですので、斎藤理事からの会計報告の後、私が質疑に答えます。

寺田理事

スライドは誰が発表用PCに移行しますか？

広報　菅原理事

私と河井理事とで予め中身と動作の確認をし、前日に河井理事が発表用PCの方へ移行するようにします。

Ⅴ．表彰者一覧：勤続20年、35年表彰・感謝状

中村組織理事

勤続35年・20年表彰についてですがそれぞれ代表の方１名ずつに壇上に上がっていただき表彰を受けていただこうと考えています。35年として島田市立の畑会員、20年として藤枝市立の蒔田会員にお願いしたいと思いますのでそれぞれ中村理事、河井理事、連絡をお願いします。

庶務会員管理　野沢理事

前項で協議終了していますが、表彰者リスト対象者数名を確認したところ、若干名実績と乖離している可能性があります。確認でき次第、早々に皆様に連絡します。

髙橋会長

よろしくお願いします。

Ⅵ．その他

広報　菅原理事

・セミナー会費徴収システム運用改定案について

１，セミナー会費徴収システム改定の案内

２，セミナー会費徴収システム運用規定

３，有料セミナーの申込方法の案内

上記それぞれ資料をご確認ください。

会費徴収システムについて、問題点の考察を行いシステムの改修を行いました。現在、参加募集している「MRI部会」「アンギオ部会」は現状で対応し、新年度のセミナーから新システムに移行をお願いしたいと考えております。

・改善点について

今回、セミナー会費納入および申込を一連で行えるよう改良いたしました。今回のシステムでの改善効果は以下です。

①振込人不明が、ほぼ無くなります（ゆうちょ払込用紙払いの記載漏れを除く）。

②締め切り後の振込が無くなります。

③申込をして振り込みをしないパターン（参加出来るか分からないが、とりあえず申込だけするケース）が無くなります。

④メールアドレス違いや失効しているメールアドレスによる連絡不達がなくなります。

「第63回 東海四県診療放射線技師学術大会」の問

題点として、振込名が不明の方が、クレジット払い１名、郵貯２名（払込用紙に記名なし）、PayPay 15名ほどいました。

また、振込締切を守らない方が16名いたことから、名簿作成が遅延してしまいました。

新方式では、上記をほぼ解決できると思われます（ゆうちょ払込用紙払いをやめ電信振替のみとしましたら100％解決します）。

「セミナー会費徴収システム運用規定」「有料セミナーの申込方法について（マニュアル）」の改訂版を作成いたしました。

今回、セミナー参加者の方に一斉配信する仕組みを構築いたしました。

領収書の配布やエキストラな連絡等に活用して頂けると思います。

1　セミナーの申込方法について

セミナー会費を事前納付後、申込フォームにて登録を行う。また、振込および申込手順は一連に行えるようにホームページを準備する。

＊詳細は、別資料「有料セミナーの申込方法について」を参照

2　募集期間の対応ついて

①募集開始日からセミナー開催日の２日前22時を募集期間とする。（日曜開催の場合：３日前、木曜日22時とする。）

②募集期間終了時「セミナー申し込みページ」から該当セミナーを削除する。また「振込案内ページ」から各振り込み手段を削除する。

3　募集期間終了後の対応について（アシストデザイン）

①原則セミナー２日前、振込終了日（22時）を終了とする。終了後、速やかに参加者名簿を作成し情報管理委員長と主催者へ提出する。（日曜開催の場合：３日前）

②セミナー１日前に全参加者にリマインダーメールを送信する。（日曜開催の場合：２日前）

4　セミナー決算報告について（アシストデザイン）

セミナー前日までに、情報管理委員長と主催者にメールにて報告する。

5　参加証明書の配布について

Web参加：主催者が参加確認後に登録メールアドレス宛に発行

会場参加：会場で発行

6　静岡県放射線技師会　銀行口座振り込みについて

①静岡県放射線技師会・新規開設ゆうちょ銀行口座とする。

②振込み人名義への部会番号付帯について（各部会番号は以下）

26：超音波部会

27：MRI部会

28：アンギオ部会

29：乳腺画像部会

30：管理士部会

99：県外事業（東海四県学術大会など）

例）第15回MRI研究会会費の振込人名は「27アシスト」になります。

・経費

1．手数料

1・クレジットカード決済（１件・50円）

2・PayPay　QRコード決済（１件・40円）

3・ゆうちょ銀行振込（１件・40円）

2．静放技口座への振込料金100円が発生いたします。

・第12回静岡県放射線技師会定時総会

・第27回静岡県放射線技師学術大会

募集画面を４月25日位に掲載予定、ホームページＴＯＰ画面にわかりやすく掲載予定。

同時に上記会費徴収システムの申し込み方法改訂画面も掲載予定。

・Zoom運用方法と契約方法

先日の常任理事会でも承認いただきましたが、ZOOMアカウント使い回しが難しくなっているため以下のような運用への変更を検討。

現在の１アカウント、１ミーティングライセンスの月契約から３ミーティングライセンス年間契約に変更してセミナー開催時のホスト負担分散、サポート体制の構築を提案。

・部会、委員会研修セミナー参加費　振込方法の変更について

セミナー終了後に、参加費集計金額（参加費の合計から集金手数料と振込手数料を差し引いた金額）を振り込む通帳の変更を実施。

現　在→静岡県放射線技師会通帳（ゆうちょ銀行）一元管理

本年度→各部会、委員会、または技師会通帳部門管理

・手数料の確認

参加費の集金手数料（参加者ごと）

・クレジットカード　50円

・PAYPAY　40円

・ゆうちょ振込　40円

集計金額を各部会の口座に振り込む際の手数料

・ゆうちょ銀行への振込料：100円

・ゆうちょ銀行以外への振込：165円

既存手数料は、今までと同様。最後の手数料がゆうちょ銀行以外への振込の際、65円の負担増となる。

・診療放射線技師向けの情報サイト　利用について

別紙参照

高橋会長

アシスト社のシステムに限界を感じます。いろいろ難しいようでしたら将来的に他のシステムを採用すべきかもしれません。

高橋会長

他に報告事項・協議事項等無いようなので以上をもちまして令和５年第１回理事会を終了します。

※議長が第１回理事会の終了を宣言したので、令和５年４月22日午後５時00分理事会を閉会。

議事録作成　河井　淑裕

第12回 公益社団法人 静岡県放射線技師会 定時総会 議事録(抄)

【開催日時】 令和５年５月28日（日）
９時30分～10時20分
（現地＋WebのHybrid開催）

【場　　所】 静岡県男女共同参画センター
「あざれあ」 ６階大ホール

【参 加 者】

髙橋　　真	（会長）	大会委員長
中村　英明	（組織理事・中部）	実行委員長
牛場　克明	（副会長・東部）	受付
佐藤　正明	（副会長・中部）	会場
小林　秀行	（副会長・西部）	総合
河井　淑裕	（総務庶務常任理事）	書記
福地　大介	（庶務一般常任理事）	議事録署名
野沢　滋幸	（会員管理常任理事）	表彰報告
常葉　勇介	（編集常任理事）	採決
菅原　和仁	（広報常任理事）	PCWEB管理
齋藤　　忍	（会計常任理事）	会計報告
中村　真也	（総務常任理事）	会場
大多和純一	（組織理事・東部）	資格審査
神谷　正貴	（組織理事・西部）	PCWEB管理
寺田　理希	（学術理事）	渉外接待
廣澤　賢一	（企画調査）	PCWEB管理
栗田　仁一	（監事）	監事報告
和田　　健	（顧問）	
山本　英雄	（顧問）	
三井　賢一	（会員）	議長
白鳥　順一	（会員）	議長
坪内　秀夫	（会員）	会場
筒井　亜季	（会員）	会場
服部　剛士	（会員）	アナウンサー
佐々木遥香	（会員）	アナウンサー

【次　　第】

第12回（公社）静岡県放射線技師会定時総会
式次第

1．開会の辞
2．会長挨拶
3．表　　彰
4．報　　告
　令和４年度事業報告及び同附属明細書報告
　令和４年度監査報告
5．議長団選出
6．議案
　第１号議案　令和４年度計算書類等一式承認の件
　第２号議案　その他
7．議長団解任
8．閉会の辞

【定時総会】

中村英明総合司会

定刻になりましたので、ただ今より、第12回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会を開催します。はじめに、髙橋　真会長から挨拶があります。

【会長挨拶】

髙橋会長

皆様おはようございます。静岡県放射線技師会の髙橋と申します。よろしくお願いいたします。本日たくさんの方がお越しいただき、またご視聴いただき大変うれしく思っております。今日ですが、130人以上の方がWebも含め参加していただいております。本当に心から感謝申し上げます。また、今回の会場に関して運営に関わっていただいた方、本当に忙しい中昨日から大変な思いをされたと思いますが、準備していただき本当に感謝いたします。ありがとうございました。さて、静岡県放射線技師会は、昨年75周年を迎えました。また、公益法人化としては10周年を迎えまして、昨年度の１月になりますけども10周年記念式典を

開催させていただきました。非常にいい会だったと私自身思っていますし、一緒に参加された方々も本当にいい会だったと言っていただいて、本当に嬉しく思っております。また、昨年度の学術大会に関しても東海四県がございました。いろいろな催しが、会場型という形で開催されたことが非常に私自身嬉しく思っております。今回コロナウイルスの関係が５類に下がったということで、マスクの着用が緩んできたりなどありますが、我々は医療従事者ということもありますので、マスクを着用したままやらないといけないところもあるかと思いますが、講演に関してはマスクなしで講演させていただくことをご了承いただきたいと思います。総会に関して皆様からいただいたハガキのご意見に関しましてもこの後審議がございますが、そちらでしっかりと述べさせていただいて、今後の活動に関してしっかりと生かしていきたいと思っております。また、学術大会に関しては、今回口演20演題ございます。非常に多くの演題をいただきまして、本当に嬉しく思っております。ありがとうございます。公開講演では、名古屋大学の小山先生から、学生に向けたメッセージということで、新たな試みではありますが、今後新しく放射線技師を目指す方にとってのアピールにもなるかなと思いますので、ぜひ楽しみにしていただければと思います。私自身も非常に楽しみにしております。また、総会に関して皆様と一緒に意見を交わしながらやっていきたいと思いますので、今日１日何卒よろしくお願いいたします。

中村総合司会

高橋会長、ありがとうございました。

次に表彰に移らせていただきます。

表彰委員長代行として聖隷健康サポートセンターShizuoka　野沢　滋幸理事お願いいたします。

【表彰】

野沢　滋幸理事　　表彰報告

後藤表彰委員長に代わりまして、私の方から永年勤続35年及び20年の方のお名前をお呼びさせていただきます。

永年勤続35年表彰者（14名）

大原　　明（沼津市立病院）
畑　　利浩（島田市立総合医療センター）
石川　尚紀（JA静岡厚生連　遠州病院）
佐々木英治（NTT東日本伊豆病院）
井出　敦之（田辺整形外科医院）
天野真由美（自宅）
芹澤　和彦（三島総合病院）
松本　恭徳（自宅）
鈴木　和訓（富士市立中央病院）
井上　忠之（菊川市立総合病院）
荒木　重雄（自宅）
澤田　通文（浜松医科大学医学部附属病院）
村山　保男（西焼津駅前クリニック健診センター）
伊代田和孝（総合病院聖隷浜松病院）

永年勤続20年表彰者（29名）

星野　明宏（静岡市立静岡病院）
杉本　　鈴（清風会　芹沢病院）
中村　真也（静岡県立こども病院）
浅見　浩明（共立蒲原総合病院）
秋山　寿美（渡辺整形外科内科医院）
赤池　宗紀（静岡県立総合病院）
高崎　哲也（静岡県立総合病院）
中野　　瞳（静岡市清水医師会）
平入　哲也（順天堂大学医学部付属静岡病院）
田中　諭宇（百葉の会　湖山病院）
蒔田　鎮靖（藤枝市立総合病院）
中村　佐織（静岡県立こども病院）
中村　佳司（有隣厚生会　富士病院）
勝又　史樹（有隣厚生会　東部病院）
勝又　勇丞（有隣厚生会　富士小山病院）

山本　智久（静岡赤十字病院）
石部　弘樹（自宅）
筒井　克好（JA静岡厚生連　遠州病院）
利　　旭央（富士宮中央クリニック）
澤口　知映（沼津市立病院）
澤口　信孝（富士市立中央病院）
山内　達也（静岡市立静岡病院）
福田　光記（静岡赤十字病院）
鈴木　康章（中東遠総合医療センター）
遠藤　基生（静岡赤十字病院）
水野　敬晃（秀峰会　川村病院）
井上　涼子（自宅）
上棚　稔之（有隣厚生会　富士病院）
畑　　美穂（公立森町病院）
以上の方々となります。

総合司会

次に報告に移らせていただきます。

令和４年度事業報告及び同附属明細書報告を、髙橋　真会長お願いします。

髙橋会長

令和４年度事業報告（案）について総括をさせていただきます。２ページ目を確認していただきたいと思います。

本会は昭和23年８月に静岡県放射線技師会として誕生し、令和４年度に設立75周年を迎え、会員数1,000名を超える会に成長いたしました。更に、公益社団法人格を取得して10年という記念すべき年ともなり、令和５年１月14日には公益法人化10周年記念式典を開催し、多くの来賓に出席を賜り、会員とともに盛大に開催することができました。今日まで会発展のためにご尽力を賜りました諸先輩各位や、会員の皆様方のご熱意とご協力に深い敬意と謝意を表します。

令和４年度の事業につきましては、新型コロナウイルス感染症が確認されてから３年が経過し、新しい生活様式を取り入れながら活動をしてまいりました。県民に向けた年３回の公開講演会（総会・秋季・新春）については、すべて会場型で開催することができ、県民の皆様へ直接メッセージを送ることが出来ました。さらに社会活動として、各地区のふれあい広場、東部地区（キラメッセ沼津）で開催されたメディメッセージでは、放射線科ブースを訪れた方々へ放射線に関する正しい情報、健康増進推進のための情報を提供してまいりました。会員皆様に向けては、静岡県放射線技師学術大会、東海四県診療放射線技師学術大会も数年ぶりに会場型で実施をいたしました。部会研修会につきましては、本年度より会費の徴収をさせていただき、会場費等必要な経費を会員の皆様から徴収させていただき、適切に運営することができました。令和３年７月９日医政局発0709号第７号「臨床検査技師等に関する法律の一部を改正する政令等の交付について」が厚生労働省医政局長より発出され、診療放射線技師の業務範囲の見直しが行われたことに伴う告示研修については、昨年度10回開催し443名が受講を修了しております。告示研修のファシリテータを担っておられるスタッフの負担が増えており、次年度新たなスタッフを招集し、会員の皆様が受講できる体制を確立し、今年度同様10回の実施を予定しております。昨年度から始めた高校生に向けた出張授業については、残念ながら感染拡大に伴い実施することが出来ませんでしたが、次年度改めて取り組んでまいりたいと考えております。

今後も会場型をメインとしたハイブリッドでの開催を軸として、会員の皆様に学びの場を提供してまいります。

静岡県放射線技師会は診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、チーム医療の一員としての自覚と安全で質の高い医療の実践、そして高度な医療技術の提供を行い専門職としてのスキルアップを図り、県民の健康保持増進の貢献に努めてまいりました。

【主な事業内容】

主な公益事業内容になりますが、公１事業に関しましては、昨年令和４年５月29日に、プレスタワーで学術大会を開催いたしました。

また、東海四県に関しましてはアクトシティで行われ、156名という会員の方々が会場にお越しいただいて盛大に開催することができました。

研修に関する告示研修に関しても、年10回開催することができました。これも、皆様の受講が非常に多くて安心しております。また、今年もしっかりとやっていきたいと思っております。

また、各部会でいろんなものをしっかりとやっていただいて、会場型であるとかWebを使ったものであるとか、そういったものがしっかりと開催されたと思っております。

公２事業の体験事業においては、大きなものとして新春公開講演会、秋季公開講演会をしっかりと開催させていただいて、参加人数も多くの方に見ていただくことができました。

公３のところにおきましては、原子力災害のところに関して、浜岡原子力発電所の方々と一緒にやっておりますが、これも継続してやっていきたいと思っております。以上でございます。

中村総合司会

髙橋会長ありがとうございました。続きまして令和４年度監査報告を栗田　仁一　監事お願いいたします。

【監事報告】

栗田　仁一　監事

令和４年度監査報告をさせていただきます。

監査実施日　令和５年４月22日（土）

監査実施場所　静岡県放射線技師会事務所　にて

監査立会人　会長　髙橋　真

副会長　佐藤　正明

会計　齋藤　忍

事務員　清水　陽代

監査書類　事業報告書、収支決算書、財産目録、正味財産増減計算書、領収書貸借対照表、出納帳、貯金通帳

立ち合いのもと監査を実施いたしました。

（１）貸借対照表及び正味財産増減計算書は、定款に従い会の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。

（２）事業については、厳しい財政での事業であり会員一人一人のいっそうの努力で身のある事業になることを望みます。

（３）役員の職務遂行に関する不正の行為または定款に違反する事業は認められません。

（４）会費納入については事業を円滑に遂行するために年度当初の納入を切に望みます。また、遅くとも会費納入期限９月30日の完納を望みます。

（５）事業費に占める公益事業比率は72.3％でした。今後も公益比率の維持を望みます。

以上となります。

中村総合司会

栗田監事、ありがとうございました。引き続き、総会議事を行います。

【議長選任】

中村総合司会

それでは議事に入りたいと思います。議長の選任につきましてはいかが取り計らいましょうか。

司会者一任の発言をいただきましたので、司会者より議長の指名をさせていただきます。

JA静岡厚連清水厚生病院　三井　賢一会員

静岡済生会総合病院　白鳥　純一会員

にお願いをいたします。

よろしくお願いいたします。

【議事進行】

三井議長

ご指名いただきました私は、JA静岡厚生連清水厚生病院　三井　賢一、静岡済生会総合病院　白鳥　純一と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、はじめさせていただきます。本日の総会の資格審査を本部より報告願います。

【資格審査】

大多和　純一　（組織理事・東部）

資格審査委員を担当します、東部組織理事の大多和です。それでは資格審査委員より本日の総会成立に関しまして、報告いたします。定款第18条には、現会員数1014名の過半数を持って総会の成立が定められております。本日までに、はがき表決状697名が得られており、表決状の数が定款に定められた過半数を満たしておりますので、本総会の成立をここにご報告いたします。

三井議長

本部より本総会の成立が報告されましたので、これより議事にはいりますが、ここで、総会運営委員の任命をします。すでに決定してありますので紹介します。

【総会運営委員任命】

書　　記：常任理事　総務庶務理事
　　河井　淑裕（かわい　としひろ）
採 決 係：常任理事　編集理事
　　常葉　勇介（ときわ　ゆうすけ）
議事録署名人：東部副会長
　　牛場　克明（うしば　かつあき）
　　常任理事　庶務一般理事
　　福地　大介（ふくち　だいすけ）

以上よろしくお願いいたします。

白鳥議長

それでは、総会次第に則り第１号議案の進行いたします。

本総会では議案について表決は表決ハガキの採決結果報告となりますので、会計報告後、質疑応答を行います。会場からの質疑応答の後はがきでの質疑に対してお答えいたします。

５－議事

では＜１号議案＞、第１号議案、定款第44の第１項、第３号から第５号までを総称して、2022年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）等一式承認の件を齋藤忍会計理事よりお願いいたします。

齋藤　忍　（会計常任理事）

【会計報告】

2022年度決算報告をいたします。報告の前に、こちらの資料の記載に誤りがありましたので、お詫びと訂正をさせていただきます。科目の項目の80周年記念事業積立金ですが、10周年記念事業積立金の誤りでしたので、訂正をお願いいたします。大変申し訳ございませんでした。続けて、決算報告に移らせていただきます。資料の38ページの貸借対照表をご覧ください。

【貸借対照表】

・当年度の現金預金は、5,883,972円
・80周年記念事業積立金は、800,000円
・事務所営繕取得準備資金は、324,563円増加し7,433,126円。
・その他固定資産は、建物の減価償却により193,276円減少しています。
　資産準備資金よりPC、プロジェクターを購入し、什器備品費用457,256円を計上しています。
・当年度資産合計は、31,892,689円。

【正味財産増減計算書】

１．経常収益
・受取会費の正会員受取会費は増加し、賛助会員

受取会費が減少していますが、会費は297,000円増加しています。

・受取負担金は部会の負担金、東海四県負担金の745,700円　が増加しています。

1．経常費用

・事業費－会議費は各部会、委員会等が再開されたため会議費が151,314円増加

・通信運搬費は令和３年度のホームページ更新費用を令和４年度で負担したため事業費として、270,844円、管理費として、195,549円増加

・事業費－消耗品費は表彰記念品、10周年記念品購入費として243,893円増加

・事業費－賃借料は10周年記念式典の会場費と講習会会場費に含めたため1,176,170円増加

・事業費－諸謝金は10周年記念式典の謝金と講習会謝金として177,040円増加

・事業費－支払負担金は部会費運用の変更に伴い各部会、東海四県への支払で81,673円増加

・管理費－委託費は役員変更に伴う登記費用、届出費用が111,604円増加

2．当期経常増減額

経常収益－経常費用＝

11,772,235－12,307,073＝△534,838

△534,838円となっております

【正味財産増減計算書内訳表】

・公益目的事業会計の経常収益計は6,922,835円

経常費用計は　8,095,842円

公益目的事業会計の経常増減額は△1,173,007円

・公益目的事業比率は、総費用（経常費用計の総合計）12,307,073円、

公益目的事業会計の経常費用計　8,095,842円、10周年記念事業積立金　800,000円から公益目的事業比率は、72.3%となり50%以上という基準を満たしています

【付属明細書】

・10周年記念事業積立金800,000円は令和４年度の10周年事業費として使用しました

【収支計算書】

予算額と決算額の比較です。

新型コロナ禍でも事業が再開されたこともあり、事業活動収入は△600,735円、事業活動支出は△175,603円の差異となっております。

【収支計算書に関する注記】

次期繰越収支差額は5,125,355円です。

当年度はコロナ禍においても多くの事業は再開され、活発に事業を行ったため、公益目的事業会計の経常収益計は6,922,835円、経常費用計は8,095,842円と昨年に比べ収益、費用共に増加しており、公益事業比率50%以上、収支相償は確保されています。

今後も継続して事業を実施していきたいと思います。

白鳥議長

それではただ今の2022年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）等一式承認の件に対しましてご質問などございますか。

それでは、表決ハガキによる採決結果を報告します。

第１号議案の2022年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）等一式書承認の件は、

反対２名、賛成688名、保留７名でした。

採決の結果、第１号議案は賛成多数により、可決しました。

【その他】

白鳥議長

続きまして、その他、何か審議の必要案件ございましたら挙手でお願いします。会場よりないようですので、ハガキでの質疑に対して髙橋会長お願いいたします。

髙橋会長質疑応答

会場からないということですので、ハガキから幾つか回答させていただきます。

質問１：会費に関して高いのではないか。

回　答：会計の内容を見ていただいたと思いますが、内容としましては充実した内容を行っていると思います。全国の技師会の会費を鑑みても特に高いものではなく、会費に見合ったものを皆様に提供させていただいていると思っておりますので、皆様のご理解を頂きたいと思います。

質問２：東部地区会費を別途徴収する意味が解りません。県の予算から地区会に分配すべきでは。

回　答：静岡県放射線技師会と各地区で行われている地区会は別母体でございます。東部・中部・西部独自で活動しており、監査報告等行われていると思います。その辺ご理解いただいて、地区に住まわれている方は会費を払っていただいて会の運営に携わっていただきたいと思います。

質問３：80周年事業は必要ないのでは。

回　答：毎年やっているわけではなく、15年に１度開催しております。今回は、公益社団法人化10周年記念式典がありましたが、足元を見直すことは必要だと私は思っております。また、積み重ねてきたものをもう一度見直して新たに踏み出そうということは必要だと思いますので、次回の80周年がございますので、しっかりとやっていきたいと思います。ただ、皆様から頂いた会費ですので、その運営に関するところの必要経費はなるべく予算を抑えた形で実施してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

質問４：若手育成が必要ではないか。

回　答：おっしゃる通りだと思っております。フレッシャーズセミナーというのを７月頃に開催しております。ぜひ、若手の方でまだ技師会に入られていない方、入られた方でも構いませんが、そういった方に対する基本的な教育のところをやっております。また、日本診療放射線技師会の方としましてもラダー教育というものを今後取り組んで行くということも言っております。是非そういったものも含めて、技師会の中でも活用していただきながら育成に力を入れていただきたいと思います。あと、STAT画像診断報告という言葉が最近言われていますが、これに関しても日放技の方と協力しながら、我々できるところも出していきたいと思っています。これもラダー教育で１年目、２年目ができること、それ以降ができることというような、そういったラダーを組みながらやっていくような話を聞いております。また皆様の方にはアナウンサーさせていただきますが、そういった協力しながらやっていけるところもあるかと思います。是非お願いいたします。

質問５：公益化された頃からの監査報告に違和感を覚えます。監査の基準が不明、会員の努力を求めている。監査の基準が不明、徴収ではなく納入に言及している。50%以上を確保している比率に対する監査基準が不明、「維持を望む」という意見は必要か。総じて、選任された監事はその職務について熟慮し、適切かつ簡潔に監査報告をしていただきたい。

回答（監事）：ご意見本当にありがとうございました。私の方で、過去の資料を調べましたところ、平成24年の公益化された当初から同様の文言がありました。

今回非常に、貴重なご意見いただいたと思っておりまして、再考の機会をいただいたというところです。次回以降、監査

報告書としてふさわしい文言について確認していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

白鳥議長

その他、ございますでしょうか。

他に無いようですので、第12回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会の議事を終了いたします。熱心なご討議ありがとうございました。以上を持ちまして、議長団を解任させていただきます。

中村総合司会

議長ご苦労様でした。

これをもちまして第12回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会を終了します。長い間、熱心なご討議をいただきましてありがとうございました。

行事予定カレンダー　令和5年8月～11月）

8月			9月			10月			11月		
1	火		1	金		1	日	▶第38回 日本診療放射線技師学術大会(熊本)	1	水	
2	水		2	土		2	月		2	木	
3	木		3	日		3	火		3	金	文化の日
4	金		4	月		4	水		4	土	
5	土		5	火		5	木		5	日	
6	日		6	水		6	金		6	月	
7	月		7	木		7	土	中部地区会第1回放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会	7	火	編集委員会(二校)
8	火		8	金		8	日		8	水	
9	水		9	土	東部地区会第1回放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会	9	月	スポーツの日	9	木	第15回常任理事会(事務所)
10	木	第9回常任理事会(事務所)	10	日	静岡ふれあい広場(中部地区会)	10	火		10	金	
11	金	山の日	11	月		11	水		11	土	第1回西部地区会勉強会・放射線セミナー・胃がん健診従事者講習会(西部)
12	土		12	火		12	木	第13回常任理事会(事務所)	12	日	
13	日		13	水		13	金		13	月	
14	月		14	木	第11回常任理事会(事務所)	14	土	第17回静岡県MRI技術研究会 第3回告示研修(実技研修)	14	火	
15	火		15	金		15	日	第4回告示研修(実技研修)	15	水	
16	水		16	土		16	月		16	木	
17	木		17	日		17	火		17	金	
18	金		18	月	敬老の日	18	水		18	土	令和5年度原子力緊急時災害対策研修会
19	土	第38回乳腺画像部会研修会	19	火		19	木		19	日	
20	日		20	水		20	金		20	月	
21	月		21	木		21	土		21	火	
22	火		22	金		22	日	可美公園まつり：健康ブース(西部)	22	水	第16回常任理事会(Web会議) 未定
23	水		23	土	秋分の日	23	月		23	木	勤労感謝の日 秋季公開講演会
24	木	第10回常任理事会(Web会議)	24	日		24	火	編集委員会(初校)	24	金	編集委員会(発送)
25	金		25	月		25	水		25	土	
26	土	第2回理事会	26	火		26	木	第14回常任理事会(Web会議)	26	日	▶第14回 中部放射線医療技術学術大会(福井)
27	日		27	水		27	金		27	月	
28	月		28	木	第12回常任理事会(Web会議)	28	土		28	火	
29	火		29	金		29	日	▶メディメッセージ2023(西部)	29	水	
30	水		30	土	▶第39回 日本診療放射線技師学術大会(熊本) 第81回超音波部会研修会	30	月		30	木	
31	木					31	火				

＊都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌もしくは静岡県技師会ホームページにてご確認ください。
＊日放技主催の生涯学習セミナー・ＡＤセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧ください。

編集後記

＊今年も自分にとって最も苦手な季節である夏がやってきました。特に熱帯夜と呼ばれる暑い日の夜はとても寝苦しくて、エアコンなしではいられません。（ちなみに冬はエアコンを全く使いません。わりと寒い方が過ごしやすいのです。）今年の夏をどう乗り切ろうか中々に憂鬱です。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。　常葉

＊コロナウイルス騒動もようやく終わり、各地でイベントが再開されつつあります。中部地区会では９月に、青葉通りで行われるふれあい広場に参加予定です。詳細はまたホームページ等でお知らせしますので、お時間のある方はぜひお越しください。　杉山

＊若いときは夜勤中にインスタント食品などを気にせず食べていました。しかし、40代になってからは健康や体型のことを考え、我慢することが多くなりました。ただ、お腹が空きすぎると、仮眠が取れなくなったり、急に忙しくなり、食べておけばよかったと後悔することも…。ネットで調べると、夜勤中は血糖値に影響を及ぼしづらい、炭水化物の少ない食品や、血糖値を急上昇させにくい食品を選ぶと良いそうです。今後はそういった食品を用意して夜勤に臨みたいと思います。　遠藤

＊皆さんはふるさと納税をやられていますか？私は恥ずかしながら去年デビュー致しました。そしてこの制度の素晴らしさに気づき、今更ながらどっぷりハマっています（笑）。最初からやっていれば良かったと後悔しています。魅力的な返礼品が多く迷ってしまいます。お薦めの返礼品がありましたら是非とも教えて下さい。　福地

＊暑い日が続いています、今年はスイカとメロンに初挑戦しています。田舎のためサルやイノシシとの戦いになります。以前作ったトウモロコシは、サルのおかげで全滅でした。動物除けはしました。暑さと雑草との戦いでもあります。どうなるか楽しみです。　堀

＊以前とは違って感じられることがあります。こんなに真夏日、そして豪雨も多くなかったような気がしていますが？70代の仲間入りもしましたが、知り合いには80代の現役技師も頑張っています。自分も健康で長続きしたいと思います。　三輪

会誌「しずおかジャーナル」Vol.33　No.1　2023　　令和５年７月28日発行

発行所　：　〒420－0064　静岡市葵区本通１丁目３－５　フェリス本通り202
公益社団法人　静　岡　県　放　射　線　技　師　会
発行人　：　髙　橋　　真
編集者　：　常　葉　勇　介
印刷所　：　松本印刷株式会社　〒420－0054　静岡市葵区南安倍1丁目1番18号
TEL(054)255－4862　FAX(054)253－2309

事　務　所　案　内

執務時間：月曜日～金曜日　午前10時より午後１時まで　　TEL(054)251－5954
執務時間外は留守番電話にてお受けいたします。　　FAX(054)251－9690

URL http：//shizuhogi.jp
E－mail address ： info-shizuokahousya@shizuhogi.jp